

第5期芽室町総合計画前期実施計画の評価及び後期実施計画の考察（所管委員会）

施策番号	施策名	基本目標
1-1-1	担い手育成と農業の応援団づくり	農業を軸とした活力と賑わいのあるまちづくり
		政策名 持続可能な農業の基盤整備と支援の強化

1. 施策の方針と成果指標

施策の方針		対象		意図			結果	
農業経営体の育成と新たな担い手の確保を推進し、町民の「食」と農業に対する理解の促進を図り、持続可能な農業による活力あるまちづくりを目指します。		農業経営体 町民		・農業経営体の育成と新たな担い手確保による、経営の安定、拡大 ・担い手への農地集積 ・町民の「食」に対する理解促進			専業経営を中心とした、発展・持続する土地利用型農業の推進	
成果指標	説明	単位	策定時(2017実績)	2019年度実績	2020年度実績	2021年度(予想)	2022年度目標	
① 新規就農者数(後継者就農を含む)	農林課調べ	人	58	8	11	15	50	
② 認定農業者等の担い手への農地集積率	農林課調べ	%	95.6	95.3	95.6	95.6	95%以上	
③ 日頃、地産地消を意識して買い物をしている町民の割合	住民意識調査	%	75.8	83.8	84.0	84.0	80.0	
④								
成果指標 設定の考え方	①新たな担い手確保における成果として、新規就農者数を指標とし、期間内に50人を目指すもの。 ②農業経営の基盤となる農地をできるだけ担い手に集積するという考え方から、農業委員会による本調査数値を成果指標とし、現状維持を図っていくもの。 ③農業への理解と郷土愛醸成の指標として、本調査の割合を高水準で維持することを目指すもの。							

2. 施策の事業費

	2018年度決算	2019年度決算	2020年度決算
施策事業費（千円）	2,224,135	35,084	88,756
人工数（業務量）	4.7540	4.5469	2.4198

3. 施策の達成状況

(1) 施策の達成度とその考察			
①2020年度の成果評価	☐ 成果は向上した ☒ 成果は変わらなかった ☐ 成果は低下した	想定される理由	・新規就農者、農地集積率は大幅な増減はなく堅調に推移 ・地産地消への意識については、近年の安全安心な食に対する関心の高さから高水準を維持
②2022年度の目標達成見込み	☒ 現状の取組の延長で目標は達成できる ☐ 現状の取組の延長で目標達成は難しいが、現行事業の見直しや新規事業の企画実施で目標達成は可能 ☐ 事業の見直しや新規事業の企画実施をしても目標達成は難しい	根拠（理由）	・関係機関と連携した新規就農者の確保、支援などの取り組み推進により、目標達成が期待できる。 ・「食農理解促進事業」の継続により地産地消へのさらなる意識の高まりが期待できる。
(2) 施策の成果評価に対する2020年度事務事業の総括			
①施策の成果向上に対して貢献度が高かった事務事業	農業担い手育成支援事業 食農理解促進事業	②施策の成果向上に対して貢献度が低かった事務事業	
③事務事業全体の振り返り(総括)	・自主的活動支援事業補助金により、様々な研修・研究が行われるよう、担い手への支援を実施した。 ・農業後継者のスムーズな就農を支援するため、JAめむろと連携し「新農業経営育成システム」について見直しを図りながら継続実施した。 ・食農教育は、新型コロナウイルス感染症の影響で一部のみの実施となり、メインである課外授業ができなかったが、2021年度の実施に向けて、教育委員会、指導農士会、農業振興センターと協議を重ねた。		

4. 総合計画審議会(外部評価)

評価	成果指標等から、「C前進した」と評価する。		A	B	C	D	E
		進捗結果			○		
今後の取組 に対する 意見	・芽室の人が芽室の野菜を買っているかを期間限定でもいいので集計を取るのはいかがでしょうか。実際消費高がどれくらいなのかが分かれば、より一層、芽室の人は芽室の農家さんに関心を持つという図式になるのではないかと。	A: 実現した B: (前期実施計画策定時と比較して) 大きく前進した C: (前期実施計画策定時と比較して) 前進した D: (前期実施計画策定時と比較して) 変わらない又は維持した E: (前期実施計画策定時と比較して) 後退した					

委員会評価及び展望

(1) 施策の主な内容

1	担い手の育成・確保と労働力支援体制の整備	展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						
2	芽室町農業再生協議会との連携(経営所得安定対策、国内農業・国際経済政策への対応)	展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						
3	食育・地産地消に関する事業の拡充(農業の応援団づくり)	展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						
4	耕地防風林造成支援対策	展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						
5	芽室町農畜産物のPRと販路拡大の支援	展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						
6	(仮称)芽室町農業振興計画の検討	展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						
7		展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						
8		展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						

(2) 展望計画

1	労働支援体制の確立(通年雇用対策、住宅確保対策、情報連携)	展望	強化	維持	縮小	廃止
考察						
2	諸外国との経済連携協定などに関する情報収集と対策検討・実施	展望	強化	維持	縮小	廃止
考察						
3	食育に関する事業の拡充	展望	強化	維持	縮小	廃止
考察						
4	芽室町農畜産物のPRと販路拡大策の具体的実施支援	展望	強化	維持	縮小	廃止
考察						
5		展望	強化	維持	縮小	廃止
考察						
6		展望	強化	維持	縮小	廃止
考察						
7		展望	強化	維持	縮小	廃止
考察						

(3) 施策

評価・考察		評価	実現	前進	維持	後退
		展望	強化	維持	縮小	廃止

第5期芽室町総合計画前期実施計画の評価及び後期実施計画の考察（所管委員会）

施策番号	施 策 名	基本目標
1-1-2	農業生産性の向上と経営基盤支援	農業を軸とした活力と賑わいのあるまちづくり
		政策名 持続可能な農業の基盤整備と支援の強化

1. 施策の方針と成果指標

施策の方針		対象	意図				結果	
環境に配慮し、効率的な農業生産を進めるとともに、本町農業・農畜産物の理解を促進し、農業の持続的発展による安定した地域経済の推進を図ります。		農業経営体 農業者で組織する団体(生産・加工・流通)	・生産性の向上に向けた土づくり、適正な輪作、病害虫・有害鳥獣対策を進める ・先進的技術や施設整備による効率的な農業経営 ・地元産農畜産物のPRと販路拡大				安全・安心の農畜産物の供給 持続可能な農業経営による地域経済の拡大・推進	
成果指標	説明	単位	策定時(2017実績)	2019年度実績	2020年度実績	2021年度(予想)	2022年度目標	
① 農業産出額	農業生産額(農業再生協議会)	億円	270	311	297	314	314	
②								
③								
④								
成果指標設定の考え方		①農業産出額を本施策の成果指標とし、過去最高の数値と同程度を目指すもの。						

2. 施策の事業費

	2018年度決算	2019年度決算	2020年度決算
施策事業費（千円）	455,509	1,026,646	3,857,924
人工数(業務量)	4.4870	4.3966	5.4247

3. 施策の達成状況

(1) 施策の達成度とその考察			
①2020年度の成果評価	☒ 成果は向上した ☐ 成果は変わらなかった ☐ 成果は低下した	想定される理由	・農業振興センターの営農指導などによる農業経営基盤の安定化 ・良質な堆肥施用による土づくり支援
②2022年度の目標達成見込み	☒ 現状の取組の延長で目標は達成できる ☐ 現状の取組の延長で目標達成は難しいが、現行事業の見直しや新規事業の企画実施で目標達成は可能 ☐ 事業の見直しや新規事業の企画実施をしても目標達成は難しい	根拠(理由)	・関係機関による営農指導により目標の達成が期待できる。 ・ICTや新技術、機械・設備の整備により目標の達成が期待できる。
(2) 施策の成果評価に対する2020年度事務事業の総括			
①施策の成果向上に対して貢献度が高かった事務事業	農業振興センター運営事業 農業気象情報機器管理事業 堆肥製造施設運営支援事業	②施策の成果向上に対して貢献度が低かった事務事業	
③事務事業全体の振り返り(総括)	・技術普及、省力化体系の推進や、気象情報を活用した営農指導、経営分析を通じた農業経営管理の強化などにより、生産性向上、安定した農業経営基盤づくりが図られた。 ・畜産クラスター事業により、酪農現場における労働力確保等のための哺育育成施設の整備が進められた。 ・農業ICTについて、農村部全域に光ファイバーが整備されることとなり、高速通信基盤の営農における具体的活用策の検討が必要となっている。		

4. 総合計画審議会(外部評価)

評価	努力した結果が出ているので、「C前進した」と評価する。		A	B	C	D	E
		進捗結果			○		
今後の取組 に対する 意見		A: 実現した					
		B: (前期実施計画策定時と比較して) 大きく前進した					
		C: (前期実施計画策定時と比較して) 前進した					
		D: (前期実施計画策定時と比較して) 変わらない又は維持した					
		E: (前期実施計画策定時と比較して) 後退した					

委員会評価及び展望

(1) 施策の主な内容

1	クリーン農業と土づくりの推進	展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						
2	指導体制(農業振興センター運営等)への継続支援	展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						
3	農業生産振興対策の継続	展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						
4	農作物有害鳥獣対策の強化	展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						
5	「芽室町における酪農基盤整備構想」の実現	展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						
6		展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						
7		展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						
8		展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						

(2) 展望計画

1	クリーン農業と土づくりの継続	展望	強化	維持	縮小	廃止
考察						
2	堆肥センターの設備・機器などの計画的更新	展望	強化	維持	縮小	廃止
考察						
3	指導体制(農業振興センター運営等)への継続支援	展望	強化	維持	縮小	廃止
考察						
4	てん菜作付面積の維持拡大	展望	強化	維持	縮小	廃止
考察						
5	農作業労働力の負担軽減	展望	強化	維持	縮小	廃止
考察						
6	農業ICTの活用	展望	強化	維持	縮小	廃止
考察						
7	農作物有害鳥獣対策の強化、自衛意識高揚、ハンターの後継者対策	展望	強化	維持	縮小	廃止
考察						

(3) 施策

評価・ 考察		評価	実現	前進	維持	後退
		展望	強化	維持	縮小	廃止

第5期芽室町総合計画前期実施計画の評価及び後期実施計画の考察（所管委員会）

施策番号	施策名	基本目標	政策名
1-1-3	農地・土地改良施設等の整備・充実	農業を軸とした活力と賑わいのあるまちづくり	持続可能な農業の基盤整備と支援の強化

1. 施策の方針と成果指標

施策の方針		対象	意図				結果	
国・北海道への事業予算確保を要望し、計画的な土地基盤整備をすすめる安定的な農業生産を支援します。		農地・土地改良施設・農業用水施設・農業経営体	・土地基盤の計画的整備が図られる ・土地改良施設・農業用水施設の整備と適正な維持管理が図られる				基盤産業である農業の生産基盤となる、農地・土地改良施設・農業用水施設を整備・監理することで、農業経営の安定化と農業産出額の維持・向上を図る	
成果指標	説明	単位	策定時(2017実績)	2019年度実績	2020年度実績	2021年度(予想)	2022年度目標	
① 土地改良事業整備済み面積	土地改良事業一覧表による面積	ha	19,061	20,131	20,470	20,588	20,588	
② 良好に管理されている明渠施設の延長	農林課調べ	km	226.0	233.5	233.5	233.5	233.0	
③ 利用できる農業用水施設の延長 農業用水施設の延長	農林課調べ	km	430.0	430.5	432.7	432.7	432.0	
④								
成果指標設定の考え方	①土地基盤整備の成果指標として、今後の道営事業の計画に基づき設定したもの。 ②適正な維持管理により現状の明渠施設を継続利用できることを指標とした。 ③事業計画に基づき設定。適正な管理により利用できる延長を維持する考え方。							

2. 施策の事業費

	2018年度決算	2019年度決算	2020年度決算
施策事業費（千円）	688,145	618,243	705,457
人工数（業務量）	5.1252	5.5430	4.2517

3. 施策の達成状況

(1) 施策の達成度とその考察			
①2020年度の成果評価	☒ 成果は向上した ☐ 成果は変わらなかった ☐ 成果は低下した	想定される理由	・計画的な基盤整備、施設維持管理により成果が向上している。
②2022年度の目標達成見込み	☒ 現状の取組の延長で目標は達成できる ☐ 現状の取組の延長で目標達成は難しいが、現行事業の見直しや新規事業の企画実施で目標達成は可能 ☐ 事業の見直しや新規事業の企画実施をしても目標達成は難しい	根拠（理由）	・道営土地改良事業の計画的な実施、土地改良施設の適切な管理により、目標の達成が見込まれる。
(2) 施策の成果評価に対する2020年度事務事業の総括			
①施策の成果向上に対して貢献度が高かった事務事業	道営土地改良事業参画事業 農業用水施設維持管理事業 土地改良施設維持管理事業	②施策の成果向上に対して貢献度が低かった事務事業	
③事務事業全体の振り返り(総括)	・道営土地改良事業については、受益者の要望把握、実施主体である北海道との協議をしながら、補正予算の活用も含め計画的に実施した。 ・農業用水施設、土地改良施設については、緊急性なども考慮し、営農に支障のないよう適切な管理を実施した。		

4. 総合計画審議会(外部評価)

評価	成果指標等から、「C前進した」と評価する。		A	B	C	D	E
		進捗結果			○		
今後の取組に対する意見	・美生ダムを観光で利活用できないか。 ・近年、過去にない様な干ばつが発生しているので、農業用水施設を再度整備する必要があるのではないか。	A:実現した B:(前期実施計画策定時と比較して)大きく前進した C:(前期実施計画策定時と比較して)前進した D:(前期実施計画策定時と比較して)変わらない又は維持した E:(前期実施計画策定時と比較して)後退した					

委員会評価及び展望

(1) 施策の主な内容

1	土地基盤整備の推進	展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						
2	農業用水の安定供給	展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						
3	農業排水施設の保全・整備	展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						
4	土地改良施設の維持管理	展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						
5		展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						
6		展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						
7		展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						
8		展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						

(2) 展望計画

1	国営かんがい排水事業 芽室川西地区の推進(維持管理協議会の設立と運営体制の確立)	展望	強化	維持	縮小	廃止
考察						
2	小水力発電供用開始による維持管理費用の低減	展望	強化	維持	縮小	廃止
考察						
3	屈足ダム(十勝川左岸地区)の機器更新、用水路の補修	展望	強化	維持	縮小	廃止
考察						
4	明渠排水路再整備の計画化と事業実施	展望	強化	維持	縮小	廃止
考察						
5	明渠排水路施設未整備地区における基幹的排水路の計画化検討	展望	強化	維持	縮小	廃止
考察						
6		展望	強化	維持	縮小	廃止
考察						
7		展望	強化	維持	縮小	廃止
考察						

(3) 施策

評価・考察		評価	実現	前進	維持	後退
		展望	強化	維持	縮小	廃止

第5期芽室町総合計画前期実施計画の評価及び後期実施計画の考察（所管委員会）

施策番号	施策名	地域林業の推進	基本目標	農業を軸とした活力と賑わいのあるまちづくり
1-1-4			政策名	持続可能な農業の基盤整備と支援の強化

1. 施策の方針と成果指標

施策の方針		対象		意図			結果	
森林が持つ多面的機能の理解促進と、機能に応じた森林の整備・保全をすすめます。		町民・町有林・私有林・森林所有者		・森林が持つ多面的な機能について町民の理解を深める ・計画的な保育・造成等により森林を適正に管理する			森林が持つ多面的・公益的機能(災害防止・水源かん養・生物多様性の保全・生活環境の保全・地球温暖化防止など)が発揮される	
成果指標	説明	単位	策定時(2017実績)	2019年度実績	2020年度実績	2021年度(予想)	2022年度目標	
① 森林が持つ多面的機能を知っている町民の割合	住民意識調査	%	85.9	85.9	84.9	87.5	90.0	
② 適正に管理されている町有林面積の割合	森林調査簿より	%	99.3	98.9	99.6	99.6	99.0%以上	
③ 適正に管理されている私有林面積の割合	森林調査簿より	%	94.6	94.6	95.0	95.0	95.0	
④								
成果指標設定の考え方	①森林整備の必要性の理解度を段階的に高めていくという考え方により、目標を90%としたもの。 ②限りなく100%に近い適正管理面積を目指すもの。 ③策定時と同程度の高水準を維持する考え方により設定。							

2. 施策の事業費

	2018年度決算	2019年度決算	2020年度決算
施策事業費（千円）	51,257	74,474	62,966
人工数（業務量）	0.8924	1.1000	1.0174

3. 施策の達成状況

(1) 施策の達成度とその考察			
①2020年度 の成果評価	☐ 成果は向上した	想定され る理由	・育樹、植樹など、町民参加型の事業中止による、町民の森林機能への理解促進の低下。 ・各種計画に基づく取り組みの継続により、高水準を維持している。
	☒ 成果は変わらなかった		
	☐ 成果は低下した		
②2022年度の目 標達成見込み	☒ 現状の取組の延長で目標は達成できる	根拠 (理由)	・森林環境贈与税を活用した事業実施により、森林の持つ多面的機能の理解促進が進み、目標達成が期待できる。 ・計画に基づく森林の管理、保育の継続により、目標達成が期待できる。
	☐ 現状の取組の延長で目標達成は難しいが、現行事業の見直しや新規事業の企画実施で目標達成は可能		
	☐ 事業の見直しや新規事業の企画実施をしても目標達成は難しい		
(2) 施策の成果評価に対する2020年度事務事業の総括			
①施策の成果向 上に対して貢献 度が高かった事 務事業		②施策の成果向 上に対して貢献 度が低かった事 務事業	
③事務事業全体 の振り返り(総括)	・各種計画等に基づき、町有林の植栽、下刈、除伐、間伐、野そ駆除等を実施した。 ・幹線防風林配置計画策定のため、森林環境贈与税を活用した風向・風速調査を2か年(令和2年度、3年度)で実施する。 ・豊かな森づくり推進事業、除間伐促進事業、野そ駆除事業に対し事業費の支援を行った。		

4. 総合計画審議会(外部評価)

評価	コロナ禍の中、前進はしていないが後退もしていないということで、「D変わらない・維持した」と評価する。		A	B	C	D	E
		進捗結果				○	
今後の取組 に対する 意見	・森林を身近に感じる取り組みとして、パネル展・現物の展示など町民が触れたり知ったりできる取り組みがあるといいのではないかな。	A: 実現した					
		B: (前期実施計画策定時と比較して) 大きく前進した					
		C: (前期実施計画策定時と比較して) 前進した					
		D: (前期実施計画策定時と比較して) 変わらない又は維持した					
		E: (前期実施計画策定時と比較して) 後退した					

委員会評価及び展望

(1) 施策の主な内容

1	町有林及び附帯施設の管理事業の推進	展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						
2	民有林振興事業の推進	展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						
3	森林・林業への理解促進と森林保全	展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						
4	地域林業の振興	展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						
5		展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						
6		展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						
7		展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						
8		展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						

(2) 展望計画

1	次世代に森林環境を残すための町民意識の醸成を継続	展望	強化	維持	縮小	廃止
考察						
2	国の政策と連動した民有林の適切な維持管理の実施	展望	強化	維持	縮小	廃止
考察						
3		展望	強化	維持	縮小	廃止
考察						
4		展望	強化	維持	縮小	廃止
考察						
5		展望	強化	維持	縮小	廃止
考察						
6		展望	強化	維持	縮小	廃止
考察						
7		展望	強化	維持	縮小	廃止
考察						

(3) 施策

評価・考察		評価	実現	前進	維持	後退
		展望	強化	維持	縮小	廃止

第5期芽室町総合計画前期実施計画の評価及び後期実施計画の考察（所管委員会）

施策番号	施策名	基本目標	政策名
1-2-1	地域内循環の推進と商工業の振興	農業を軸とした活力と賑わいのあるまちづくり	農業と連携した活力ある商工業と観光物産の振興

1. 施策の方針と成果指標

施策の方針		対象		意図				結果	
農業を軸とした産業連携による商工業の振興及び企業誘致と中心市街地活性化による地域内経済循環をすすめます。		商工業者・工業系企業		・町内消費を拡大し、中心市街地活性化を図る ・産業連携による地域内経済循環を図る ・企業誘致・支援による工業団地内企業数の維持・拡大を図る				雇用・税収の確保 町内消費の増加	
成果指標	説明	単位	策定時(2017実績)	2019年度実績	2020年度実績	2021年度(予想)	2022年度目標		
① 製造品出荷額	経済センサス(工業統計調査)	億円	848	732	756	860	900		
② 商品販売額	経済センサス	億円	795	795	795	700	700		
③ 工業用地利用率 (工業用地利用面積)	商工労政課(旧商工観光課)調べ	% ㎡	95.0 1,904,706	94.6 1,897,066	95.5 1,915,094	96.1 1,928,317	95.0 1,924,541		
④ 工業団地企業数	商工労政課(旧商工観光課)調べ	社	279	307	313	313	284		
成果指標設定の考え方		① 段階的に900億円を目指す。② 700億円以上を目指す。 ③ 新工業団地造成に伴う分譲を想定 ④ 新工業団地造成等に伴う新規立地企業を想定							

2. 施策の事業費

	2018年度決算	2019年度決算	2020年度決算
施策事業費（千円）	563,271	734,292	518,155
人工数（業務量）	2.7822	1.5606	1.4767

3. 施策の達成状況

(1) 施策の達成度とその考察			
①2020年度の成果評価	☐ 成果は向上した ☒ 成果は変わらなかった ☐ 成果は低下した	想定される理由	③工業用地利用率は既存団地内企業の一部土地利用が進み、④工業団地企業数は、既存団地内に新規立地及び新規事業立ち上げにより増加したが、他の項目は大きな環境変化がなく成果としては概ね変わらなかった。
②2022年度の目標達成見込み	☒ 現状の取組の延長で目標は達成できる ☐ 現状の取組の延長で目標達成は難しいが、現行事業の見直しや新規事業の企画実施で目標達成は可能 ☐ 事業の見直しや新規事業の企画実施をしても目標達成は難しい	根拠(理由)	①、③、④：現在の工業団地面積の約96%に企業が立地・活用しており、今後の企業数や土地利用の増加については、新たな団地造成により目標が達成できる。 ②：新型コロナウイルス感染症の影響による売り上げ減少がみこまれるが、新しい生活様式に沿った経営スタイルの構築と。中心市街地商店街の活性化により達成すると思われる。
(2) 施策の成果評価に対する2020年度事務事業の総括			
①施策の成果向上に対して貢献度が高かった事務事業	芽室駅前プラザ維持管理事業 企業誘致促進対策事業 町中小企業融資事業 雇用・労働関係相談対応事務	②施策の成果向上に対して貢献度が低かった事務事業	
③事務事業全体の振り返り(総括)	・芽室駅前プラザ維持管理事業において、中心商業地域の商業及び客客の核施設である「めむろ〜」の適正な維持管理を行っている。 ・企業誘致促進対策事業において、立地企業に対し優遇措置を図り企業の存続化を図っている。 ・町中小企業融資事業は、資金供給等による町内企業の存続を目的とした事業で、昨年度は特に、新型コロナウイルス感染症により経営に影響を及ぼした町内企業に対して、経営安定に資する金融の円滑化を図っている。 ・雇用・労働関係相談対応事業において、企業の労働力確保と町内での就職支援のため開設した芽室町ハローワークを運営し、企業と求職者とのマッチングが進んだ。また、雇用促進住宅の供給を開始し、短期的利用を中心に企業雇用労働力確保に資した。 ・芽室東工業団地造成事業にあつては、土地利用の調整が難航し新団地造成ができず企業誘致活動に影響を及ぼした。		

4. 総合計画審議会(外部評価)

評価	ハローワークの色々な取り組みや、(中心市街地外であるが)カフェや個人のお店ができて活性化してきたと思うので「C前進した」と評価する。		A	B	C	D	E
		進捗結果			○		
今後の取組 に対する 意見	・成果指標は、「地場で新規の事業がどれくらい増えたか」等の方が、地場の企業の力が見えてくるのではないかな。 施策名に「地域内循環」と銘打っているのに、域内の指標を入れた方がいいのではないかな。 ・成果指標に空き店舗の推移を入れてはどうかな。 ・中心市街地の範囲(定義)については、駅前に集中させなくても、もう少し広い観点で考えてもいいのではないかな。 ・新型コロナウイルス感染症の影響を受けているサービス業や小売業に対して手厚い支援が必要ではないかな。 ・めむろーど北側エリアをはじめとする空き地、空き家対策は民間ではなく、町主導での再整備が必要ではないかな。	A: 実現した					
		B: (前期実施計画策定時と比較して)大きく前進した					
		C: (前期実施計画策定時と比較して)前進した					
		D: (前期実施計画策定時と比較して)変わらない又は維持した					
		E: (前期実施計画策定時と比較して)後退した					

委員会評価及び展望

(1) 施策の主な内容

1	中心市街地の活性化と地域内経済循環の促進	展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						
2	中小企業・小規模事業者に対する支援	展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						
3	起業に対する支援	展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						
4	新工業団地(第6工業団地)の造成と企業誘致	展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						
5	立地企業への支援	展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						
6	関係団体・組織との連携による商工業の振興	展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						
7		展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						
8		展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						

(2) 展望計画

1	町民が集う場所の創出による中心市街地のにぎわい再生	展望	強化	維持	縮小	廃止
考察						
2	中小企業、小規模事業者の経営力向上を支援	展望	強化	維持	縮小	廃止
考察						
3	起業家の経営安定・定着への支援	展望	強化	維持	縮小	廃止
考察						
4	新工業団地(第6工業団地)への企業誘致	展望	強化	維持	縮小	廃止
考察						
5		展望	強化	維持	縮小	廃止
考察						
6		展望	強化	維持	縮小	廃止
考察						
7		展望	強化	維持	縮小	廃止
考察						

(3) 施策

評価・考察		評価	実現	前進	維持	後退
		展望	強化	維持	縮小	廃止

第5期芽室町総合計画前期実施計画の評価及び後期実施計画の考察（所管委員会）

施策番号	施策名	基本目標
1-2-2	地域資源を活用した観光の振興	農業を軸とした活力と賑わいのあるまちづくり
		政策名 農業と連携した活力ある商工業と観光物産の振興

1. 施策の方針と成果指標

施策の方針		対象	意図					結果
農業や景観、食など本町の地域資源を活かした観光による魅力づくりを行うため、本町のブランド力の戦略的な活用を図りながら、観光誘客の促進を目指します。		町外観光客	・観光客の滞在時間と日数を増大させ、観光消費の拡大を図る ・観光資源が認知され、新規観光客とリピーターを獲得する					芽室町が道内・国内・海外に発信される 交流人口の増で消費の拡大につながる
成果指標	説明	単位	策定時(2017実績)	2019年度実績	2020年度実績	2021年度(予想)	2022年度目標	
① 芽室町外からの観光入込客数	十勝総合振興局まとめ	人／年	198,800	171,600	150,900	179,950	209,000	
② 新嵐山スカイパーク利用者数	魅力創造課(旧商工観光課)調べ	人／年	488,100	362,389	281,257	382,129	513,000	
③								
④								
成果指標設定の考え方	①段階的に209,000人／年を目指す。②年1%増加を目標とし、30年度から34年度までの5年間につき5%増で設定							

2. 施策の事業費

	2018年度決算	2019年度決算	2020年度決算
施策事業費（千円）	189,718	149,203	181,664
人工数（業務量）	1.6208	2.2427	2.1407

3. 施策の達成状況

(1) 施策の達成度とその考察			
①2020年度の成果評価	☐ 成果は向上した ☐ 成果は変わらなかった ☒ 成果は低下した	想定される理由	コロナ禍における移動自粛、施設の一部閉鎖等による影響と想定される。
②2022年度の目標達成見込み	☐ 現状の取組の延長で目標は達成できる ☒ 現状の取組の延長で目標達成は難しいが、現行事業の見直しや新規事業の企画実施で目標達成は可能 ☐ 事業の見直しや新規事業の企画実施をしても目標達成は難しい	根拠（理由）	観光振興にとって、現況下での移動自粛、制限は最も大きなマイナス要因となり、今後の新型コロナウイルス感染症の状況にもよるが、急激な回復は見込めない。 しかしながら、来るべき回復状況を見込み、その時の素地となるべき対応準備を怠らず、遂行することで大幅なマイナスは回避できるものとする。 そのために芽室町観光物産協会との連携、新嵐山のリニューアルの動きへの対応などと連動しながら観光資源と特産品の魅力を発信していく。
(2) 施策の成果評価に対する2020年度事務事業の総括			
①施策の成果向上に対して貢献度が高かった事務事業	ふるさと納税特典贈呈事業	②施策の成果向上に対して貢献度が低かった事務事業	
③事務事業全体の振り返り(総括)	・「ふるさと納税特典贈呈事業」→コロナ禍における巣ごもり需要などにより寄附申込件数が増え、比例して寄附金額も増えている。しかしながら、一人当たり寄附単価額が下がっていることから正比例した寄附金額の増はなかった。 ・「新嵐山スカイパーク運営支援事業」→新プランに基づく改革を断行したことにより管内をはじめとする新規利用者層を呼び込むことができたが、それを上回るコロナによる影響が大きく響き、人の流れの制限などにより、特に海外、道外、管外からの旅行・観光客が激減し、それに伴って利用者数が激減した。		

4. 総合計画審議会(外部評価)

評価	コロナ禍の中、色々な取り組みをしていることは評価できる。心情としてはC評価だが、他市町村との比較や成果指標などを勘案して「D維持した」と評価する。コロナ禍で後退してもおかしくない中、維持したことは、大変評価している。		A	B	C	D	E
		進捗結果				○	

今後の取組 に対する 意見	・メムロスキー場に町民還元の料金設定をするのはどうか。／・芽室町の広告塔である町長の発信に外国語の表記等も必要ではないか。／・お金の使い方の中で泊まるのが1番滞在時間も長くなりお金も使っていたので、泊まるということ(方向性)も検討していただきたい。／・新嵐山は町民が誇れる場所であってほしい。また、町内唯一の観光地であるので、今一度足を止めて町民の意見を聞いても良いと思う。／・ふるさと納税特典贈呈事業は税収増加のみならず魅力発信にも大切な事業なので、頑張っていたきたい。	A:実現した
		B:(前期実施計画策定時と比較して)大きく前進した
		C:(前期実施計画策定時と比較して)前進した
		D:(前期実施計画策定時と比較して)変わらない又は維持した
		E:(前期実施計画策定時と比較して)後退した

委員会評価及び展望

(1) 施策の主な内容

1	新嵐山スカイパークの基本方針	展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						
2	地域資源を活用した観光まちづくりの推進	展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						
3	芽室町観光物産協会に対する支援	展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						
4	道東自動車道を活用した観光振興の推進	展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						
5	農業を核とした農商工連携による物産振興	展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						
6	町民、地元企業との連携及び情報発信の充実	展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						
7		展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						
8		展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						

(2) 展望計画

1	地域の稼ぐ力を引き出す舵取り役として、観光地域づくりを実現するための戦略策定及び調整機能を行う法人であるDMOの設立(芽室版観光DMO)	展望	強化	維持	縮小	廃止
考察						
2		展望	強化	維持	縮小	廃止
考察						
3		展望	強化	維持	縮小	廃止
考察						
4		展望	強化	維持	縮小	廃止
考察						
5		展望	強化	維持	縮小	廃止
考察						
6		展望	強化	維持	縮小	廃止
考察						
7		展望	強化	維持	縮小	廃止
考察						

(3) 施策

評価・考察		評価	実現	前進	維持	後退
		展望	強化	維持	縮小	廃止

第5期芽室町総合計画前期実施計画の評価及び後期実施計画の考察（所管委員会）

施策番号	施策名	学校教育の充実	基本目標	心豊かで輝く人と文化を育むまちづくり
2-1-1			政策名	豊かな心を育む人づくりと生涯にわたる学びの充実

1. 施策の方針と成果指標

施策の方針		対象	意図					結果
地域社会と連携しながら信頼される学校づくりを推進し、新しい時代を自ら切り拓くことができる心身豊かな人づくりを目指します。		児童生徒	・確かな学力、豊かな心と健やかな体を育み、未来を切り開くための資質・能力を身につける					児童生徒が社会に出たときに自立できる
成果指標	説明	単位	策定時(2017実績)	2019年度実績	2020年度実績	2021年度(予想)	2022年度目標	
① 「授業の内容がわかる」と回答した児童生徒の割合	全国学力・学習状況調査	%	75.8	74.0	77.1	79.0	80.0	
② 「自分にはよいところがある」と回答した児童生徒の割合	全国学力・学習状況調査	%	72.2	77.4	75.8	77.0	78.0	
③ 「朝食を毎日食べている」と回答した児童生徒の割合	全国学力・学習状況調査	%	85.7	87.7	85.2	88.0	90.0	
④								
成果指標設定の考え方	成果指標の設定は、全国学力・学習状況調査の結果を採用し、「豊かな学力」、「豊かな心」、「健やかな体」を育む上で、3つの指標を設定した。 目標値の設定は、各成果指標共に5%程度の上昇を目指し設定した。							

2. 施策の事業費

	2018年度決算	2019年度決算	2020年度決算
施策事業費（千円）	907,458	895,658	1,184,039
人工数（業務量）	6.4412	7.0169	7.5902

3. 施策の達成状況

(1) 施策の達成度とその考察			
①2020年度の成果評価	☒ 成果は向上した ☐ 成果は変わらなかった ☐ 成果は低下した	想定される理由	成果指標③は停滞したが、①と②は上昇。⇒これは、小学校全学年での35人以下学級編成、授業改善推進チームの組織的定着、特別支援教育の充実による効果が伺え、全体的に成果は向上したと考える。
②2022年度の目標達成見込み	☐ 現状の取組の延長で目標は達成できる ☒ 現状の取組の延長で目標達成は難しいが、現行事業の見直しや新規事業の企画実施で目標達成は可能 ☐ 事業の見直しや新規事業の企画実施をしても目標達成は難しい	根拠（理由）	①、②の指標については、小学校全学年での35人以下学級編成や授業改善推進チームの組織的定着、地域コーディネーター複数配置による特別支援教育の充実、更には、令和3年度から開始する児童生徒一人一台端末の配布によるICT教育の充実により、個に応じた学習支援を継続することで目標達成を目指す。 ③の指標については、栄養教諭による全校全学級を対象とした食育指導の継続や令和3年度より開始した「食農教育」の充実により目標達成を目指す。
(2) 施策の成果評価に対する2020年度事務事業の総括			
①施策の成果向上に対して貢献度が高かった事務事業	①小学校・中学校施設維持管理事業 ②児童生徒支援事業 ③小学校・中学校教材・教具整備事業 ④学校給食管理運営事業	②施策の成果向上に対して貢献度が低かった事務事業	
③事務事業全体の振り返り(総括)	・「①」⇒令和2年3月に策定した「芽室町学校施設等長寿命化計画」に基づき長寿命化に向けた効率的な工事実施を進めた。特に、令和2年度はICT教育推進のため校内の通信ネットワーク環境の整備を進めた。 ・「②」⇒小学校全学年35人以下学級編成のため、町独自で臨時教諭を配置した。特別支援教育の推進のため、地域コーディネーターや教育活動指導助手、学校支援員を配置し、個に応じた学習支援を実施した。 ・「③」⇒学校におけるICT教育推進のため、令和2年度に児童生徒一人一台の端末を整備すると共に、教員用パソコンについても一斉更新を行った。 ・「④」⇒栄養教諭による全校全学級の食育指導を実施すると共に、芽室産食材を活用した「めむろまるごと給食」の提供や「食農教育」の充実を進めた。		

4. 総合計画審議会(外部評価)

評価	地域コーディネーターの配置や、タブレット端末の整備等から「C前進した」と評価する。		A	B	C	D	E
		進捗結果			○		
今後の取組 に対する 意見	・タブレットを入れる袋や持ち帰りバックの斡旋を学校か町で考えてほしい。／・(冬休み等の家庭学習で)学習進度が遅れないように頑張っていたきたい。また、タブレットの使う時間を増えると視力の低下など健康面での影響もあると思うので注意していただきたい。／・時代・社会の変化により、求められる資質や能力が変化している中、新たな成果指標が必要なのではないかな。	A:実現した					
		B:(前期実施計画策定時と比較して)大きく前進した					
		C:(前期実施計画策定時と比較して)前進した					
		D:(前期実施計画策定時と比較して)変わらない又は維持した					
		E:(前期実施計画策定時と比較して)後退した					

委員会評価及び展望

(1) 施策の主な内容

1	確かな学力と社会の変化に対応する力の育成	展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						
2	規範意識や思いやりの心など豊かな心の育成	展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						
3	健やかな体の育成と健康・防災教育の推進	展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						
4	特別なニーズに対応した教育の推進	展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						
5	地域とともにある学校づくりの推進	展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						
6	教育の機会均等などの確保に向けた方策の推進	展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						
7	安全・安心で質の高い教育環境の整備	展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						
8		展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						

(2) 展望計画

1	基礎・基本の定着と確かな学力の向上	展望	強化	維持	縮小	廃止
考察						
2	特別支援教育の充実	展望	強化	維持	縮小	廃止
考察						
3	学校のICT環境の整備	展望	強化	維持	縮小	廃止
考察						
4	学校教育施設の老朽化対策	展望	強化	維持	縮小	廃止
考察						
5		展望	強化	維持	縮小	廃止
考察						
6		展望	強化	維持	縮小	廃止
考察						
7		展望	強化	維持	縮小	廃止
考察						

(3) 施策

評価・考察		評価	実現	前進	維持	後退
		展望	強化	維持	縮小	廃止

第5期芽室町総合計画前期実施計画の評価及び後期実施計画の考察（所管委員会）

施策番号	施 策 名	社会教育の推進	基本目標	心豊かで輝く人と文化を育むまちづくり
2-1-2			政策名	豊かな心を育む人づくりと生涯にわたる学びの充実

1. 施策の方針と成果指標

施策の方針		対象	意図					結果
学習機会や場の提供など学習環境の充実を図るとともに、自発的な取組への支援を図ります。		町民	・「いつでも」「どこでも」「だれでも」が学ぶことができる学習環境を整備する					町民一人ひとりが自ら進んで学習に取り組み、人と人がふれあい、心豊かに充実した生涯を過ごせるまちづくり
成果指標	説明	単位	策定時(2017実績)	2019年度実績	2020年度実績	2021年度(予想)	2022年度目標	
① 児童生徒の社会教育事業への参加者数	生涯学習課(旧社会教育課)調べ	人	1,313	881	595	600	1,190	
② 生涯学習の機会が充実していると思う町民の割合	住民意識調査	%	39.1	75.4	80.0	80.0	45.0	
③								
④								
成果指標設定の考え方	①児童生徒数の減少率を考慮するも参加率を維持するもの。 ②前期計画で達成できなかった40%の目標値を超える評価を目指すもの。 （※住民意識調査の回答項目を5択→4択に変更）							

2. 施策の事業費

	2018年度決算	2019年度決算	2020年度決算
施策事業費（千円）	148,955	115,606	141,350
人工数（業務量）	3.4688	3.7783	3.5428

3. 施策の達成状況

(1) 施策の達成度とその考察			
①2020年度の成果評価	☐ 成果は向上した ☒ 成果は変わらなかった ☐ 成果は低下した	想定される理由	①社会教育事業全般、特に児童生徒を対象とした体験・交流事業はコロナ感染症の影響により中止を余儀なくされるなど、十分な事業の実施とならず成果を上げることができなかった。 ②社会教育関係団体の活動への評価とコミュニティ・スクール活動への期待が込められたものと解している。
②2022年度の目標達成見込み	☒ 現状の取組の延長で目標は達成できる ☐ 現状の取組の延長で目標達成は難しいが、現行事業の見直しや新規事業の企画実施で目標達成は可能 ☐ 事業の見直しや新規事業の企画実施をしても目標達成は難しい	根拠（理由）	児童生徒の社会教育事業の参加については、コロナ感染症の影響等を見極め、徐々に体験・交流事業を再開するとともに、コミュニティ・スクールやジモト大学事業の推進により達成可能。 また、生涯学習機会の充実では、コミュニティ・スクールでの地域住民の参画を積極的に推進することや、公民館、図書館、高齢者学級の実施のほか、社会教育関係団体の活動充実により達成可能。
(2) 施策の成果評価に対する2020年度事務事業の総括			
①施策の成果向上に対して貢献度が高かった事務事業		②施策の成果向上に対して貢献度が低かった事務事業	
③事務事業全体の振り返り(総括)	社会教育事業全般にわたり、年度当初に計画していた事業はコロナ感染症の影響によって、ほとんど実施できない状況となった。特に児童生徒への体験・交流事業などの中止は、学校生活のみならず、課外活動においても大きな制約や支障が生じることとなり残念な結果となった。図書館や公民館の利用者にもご不便をおかけすることとなり、若い世代から高齢世代まで社会教育事業への参加に制限が多く、満足の得られる結果とはならなかった。 しかしながら、コミュニティ・スクールの実施において、地域のボランティアの皆さんをはじめ協力を申し出てくださる団体など、今後の地域コミュニティの充実へ着実に進んだ事業もある。		

4. 総合計画審議会(外部評価)

評価	成果指標やコミュニティスクールの取り組み等から、「C前進した」と評価する。		A	B	C	D	E
		進捗結果			○		
今後の取組 に対する 意見	・コミュニティスクールの存在を知らない保護者のためにも、周知や募集の方法をより工夫してほしい。 ・コミュニティスクールの情報について町内会に情報が入ってこない。地域といいながら町内会としては何をすればよいのか。町内会で協力できる部分はしていきたい。 ・子供同士や、掛妻川町・トレーシー市との交流にタブレットを使用してみてはどうか。 ・コミュニティスクールを多くの人に知ってもらうために、ホームページやFacebook等に記載されている情報を紙にして、施設に置いていただきたい。	A: 実現した					
		B: (前期実施計画策定時と比較して) 大きく前進した					
		C: (前期実施計画策定時と比較して) 前進した					
		D: (前期実施計画策定時と比較して) 変わらない又は維持した					
		E: (前期実施計画策定時と比較して) 後退した					

委員会評価及び展望

(1) 施策の主な内容

1	青少年の基本的な生活習慣の定着と体験学習の場の充実	展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						
2	地域学校協働活動の推進	展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						
3	学習支援体制の充実	展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						
4	高齢者の学習機会の充実による社会参加の促進	展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						
5	社会教育施設の機能の充実	展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						
6	社会教育関係団体の支援	展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						
7	社会教育推進中期計画の推進	展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						
8		展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						

(2) 展望計画

1	地域学校協働活動充実のための組織づくり	展望	強化	維持	縮小	廃止
考察						
2		展望	強化	維持	縮小	廃止
考察						
3		展望	強化	維持	縮小	廃止
考察						
4		展望	強化	維持	縮小	廃止
考察						
5		展望	強化	維持	縮小	廃止
考察						
6		展望	強化	維持	縮小	廃止
考察						
7		展望	強化	維持	縮小	廃止
考察						

(3) 施策

評価・考察		評価	実現	前進	維持	後退
		展望	強化	維持	縮小	廃止

第5期芽室町総合計画前期実施計画の評価及び後期実施計画の考察（所管委員会）

施策番号	施 策 名	地域文化の振興	基本目標	心豊かで輝く人と文化を育むまちづくり
2-2-1			政策名	地域文化の形成とスポーツ環境の充実

1. 施策の方針と成果指標

施策の方針		対象	意図					結果
地域における文化活動への参加を促進するとともに、文化財などの収集・活用をすすめます。		町民	・文化・芸術を身近に感じさせる地域づくり					心豊かに暮らせるまち
成果指標	説明	単位	策定時(2017実績)	2019年度実績	2020年度実績	2021年度(予想)	2022年度目標	
① 文化活動がしやすいと感じる町民の割合	住民意識調査	%	42.2	74.3	77.4	78.0	45.0	
② 地域文化活動への参加者数	生涯学習課(旧社会教育課)調べ	人	1,196	1,220	1,384	1,400	960	
③								
④								
成果指標設定の考え方		①前期計画で得られなかった評価(45%超)を目標値としたもの。 (※住民意識調査の回答項目を5択→4択に変更) ②現状の加速する減少率を改善し下げ止まりの傾向を示すもの。						

2. 施策の事業費

	2018年度決算	2019年度決算	2020年度決算
施策事業費（千円）	12,224	14,003	8,859
人工数（業務量）	0.6589	0.5721	0.6829

3. 施策の達成状況

(1) 施策の達成度とその考察			
①2020年度の成果評価	☒ 成果は向上した ☐ 成果は変わらなかった ☐ 成果は低下した	想定される理由	①②ともに指標は前年を上回ったものの、コロナ感染症の影響で、事業は縮小又は中止を余儀なくされた。そうした中、文化協会や町民活動支援センター登録団体など関係団体の活動が評価されたものと解する。
②2022年度の目標達成見込み	☒ 現状の取組の延長で目標は達成できる ☐ 現状の取組の延長で目標達成は難しいが、現行事業の見直しや新規事業の企画実施で目標達成は可能 ☐ 事業の見直しや新規事業の企画実施をしても目標達成は難しい	根拠(理由)	昨年は未実施であるが、町民参加による芸術鑑賞会実行委員会による企画・実施の取組みを改めて実施する。 また、文化活動の確保と充実に向け、文化協会をはじめ関係団体と連携し、多くの町民が参加できる事業の実現を図ることで達成可能。
(2) 施策の成果評価に対する2020年度事務事業の総括			
①施策の成果向上に対して貢献度が高かった事務事業	芸術鑑賞会等開催事業 芸術・文化振興支援事業 ふるさと歴史観運営事業	②施策の成果向上に対して貢献度が低かった事務事業	
③事務事業全体の振り返り(総括)	・町民との連携による文化芸術活動の充実 昨年は実施できなかったが、芸術鑑賞等開催事業では、町民参加による実行委員会組織での企画・運営が幅広い視点ときめ細かな運営であり、参加者からの高い評価につながっている。 ・児童生徒の文化芸術振興 全国全道大会出場支援は、文化活動がしやすいと感じる町民の割合への貢献度が高い。 ・文化活動団体の会員等の減少や指導者、後継者の確保という課題に対し、団体としての活動への魅力を再考するなど新たな取組みが必要である。		

4. 総合計画審議会(外部評価)

評価	成果指標等から、「C前進した」と評価する。		A	B	C	D	E
		進捗結果			○		
今後の取組 に対する 意見	・文化展への出展作品が減っていく中で子供たちの参加はすごく大切なので、ぜひ今後も参加してほしい。	A:実現した B:(前期実施計画策定時と比較して)大きく前進した C:(前期実施計画策定時と比較して)前進した D:(前期実施計画策定時と比較して)変わらない又は維持した E:(前期実施計画策定時と比較して)後退した					

委員会評価及び展望

(1) 施策の主な内容

1	文化芸術鑑賞機会の提供	展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						
2	文化活動団体、サークルなどの活動支援	展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						
3	文化財の調査・保護の推進	展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						
4	ふるさと歴史館の活用促進	展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						
5		展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						
6		展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						
7		展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						
8		展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						

(2) 展望計画

1	芸術鑑賞事業実施団体の育成	展望	強化	維持	縮小	廃止
考察						
2		展望	強化	維持	縮小	廃止
考察						
3		展望	強化	維持	縮小	廃止
考察						
4		展望	強化	維持	縮小	廃止
考察						
5		展望	強化	維持	縮小	廃止
考察						
6		展望	強化	維持	縮小	廃止
考察						
7		展望	強化	維持	縮小	廃止
考察						

(3) 施策

評価・考察		評価	実現	前進	維持	後退
		展望	強化	維持	縮小	廃止

第5期芽室町総合計画前期実施計画の評価及び後期実施計画の考察（所管委員会）

施策番号	施策名	基本目標
2-2-2	スポーツしやすい環境づくり	心豊かで輝く人と文化を育むまちづくり
		政策名 地域文化の形成とスポーツ環境の充実

1. 施策の方針と成果指標

施策の方針		対象		意図				結果	
町民がいつでも気軽に自由にスポーツできる環境づくりをすすめます。		町民		・いつでも気軽に自由にスポーツできるようにする				健康で明るいまちづくりを実現する	
成果指標	説明	単位	策定時(2017実績)	2019年度実績	2020年度実績	2021年度(予想)	2022年度目標		
① スポーツしやすい環境であると思う町民の割合	住民意識調査	%	92.2	83.6	83.8	84.0	95.0		
② 芽室町内の体育施設利用者数	利用実績	人/年	177,638	165,626	115,020	150,000	180,000		
③ 高校生以下の初心者がゲートボールを体験できる機会	生涯学習課(旧社会教育課)調べ(教室・講座数)	回/年	34	33	18	23	46		
④									
成果指標設定の考え方	①住民満足度として非常に高い評価を得る数値とするもの。 (※住民意識調査の回答項目を5択→4択に変更) ②前期計画で達成できなかった数値を目標とするもの。 ③事業機会を30%UPで推進しようとするもの。								

2. 施策の事業費

	2018年度決算	2019年度決算	2020年度決算
施策事業費（千円）	262,925	202,831	181,403
人工数(業務量)	1.8149	1.9441	1.6899

3. 施策の達成状況

(1) 施策の達成度とその考察			
①2020年度の 成果評価	☐ 成果は向上した	想定される 理由	スポーツ振興事業全般においてコロナ感染症の影響により施設の閉館や事業の縮小または中止を余儀なくされ、十分な事業の実施とならず成果を上げることができなかった。しかしながら、近年のソフト事業の充実と施設の維持管理に一定の評価をいただいたものと解している。
	☒ 成果は変わらなかった		
	☐ 成果は低下した		
②2022年度の目 標達成見込み	☒ 現状の取組の延長で目標は達成できる	根拠 (理由)	民間企業・団体等との連携協定事業の充実、町民参加機会を確保するとともに満足度への貢献も大きい。 社会体育施設再整備構想に基づき、施設の適正な環境整備を推進する。 本町発祥のゲートボールの推進を加速し、競技として継続できる環境づくりに努める。
	☐ 現状の取組の延長で目標達成は難しいが、現行事業の見直しや新規事業の企画実施で目標達成は可能		
	☐ 事業の見直しや新規事業の企画実施をしても目標達成は難しい		
(2) 施策の成果評価に対する2020年度事務事業の総括			
①施策の成果向 上に対して貢献 度が高かった事 務事業		②施策の成果向 上に対して貢献 度が低かった事 務事業	
③事務事業全体 の振り返り(総括)	・民間団体との連携事業、特に北海道十勝スカイアース、北海道日本ハムファイターズとの協定に基づく事業は町民からの期待度も高く、すでに実施した事業への評価、満足度も高いといえる。しかしながら、本年度はコロナ禍で事業縮小や中止を余儀なくされた。今後も引き続き貴重な機会を活用し町民満足度の向上を図る。 ・各種大会出場への支援は継続実施するが、見直しも含め内容を検討する。 ・ゲートボールの競技人口が減少しており、競技としての存続の危機という認識で今後の取組みを加速して進めて行かなければならない。		

4. 総合計画審議会(外部評価)

評価	成果に向けて計画どおり進んでいる。		A	B	C	D	E
		進捗結果				○	
今後の取組 に対する 意見	・メムロスキー場を生涯学習の場として、町民に利用しやすい環境にしてほしい。／・住民意識調査で意見の多い、バスケのできる環境を整備していただきたい。／・発祥の地杯ゲートボール大会を、出たいと思わせる重みのある大会にしていきたい。／・発祥の地杯ゲートボール大会のプラカード持ちはいい思い出になると思うので、ぜひ実施していただきたい。	A:実現した					
		B:(前期実施計画策定時と比較して)大きく前進した					
		C:(前期実施計画策定時と比較して)前進した					
		D:(前期実施計画策定時と比較して)変わらない又は維持した					
		E:(前期実施計画策定時と比較して)後退した					

委員会評価及び展望

(1) 施策の主な内容

1	多様なニーズ・適正に応じたスポーツ活動と運動機会の提供	展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						
2	体育会・関係団体の連携と支援	展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						
3	発祥の地ゲートボールの普及振興	展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						
4	社会体育施設の機能の充実	展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						
5		展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						
6		展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						
7		展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						
8		展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						

(2) 展望計画

1	社会体育施設の再編・更新	展望	強化	維持	縮小	廃止
考察						
2	スポーツ活動における指導者不足や多様化するニーズへの対応策の検討	展望	強化	維持	縮小	廃止
考察						
3	ゲートボールの競技人口減少に対する対策	展望	強化	維持	縮小	廃止
考察						
4		展望	強化	維持	縮小	廃止
考察						
5		展望	強化	維持	縮小	廃止
考察						
6		展望	強化	維持	縮小	廃止
考察						
7		展望	強化	維持	縮小	廃止
考察						

(3) 施策

評価・考察		評価	実現	前進	維持	後退
		展望	強化	維持	縮小	廃止

第5期芽室町総合計画前期実施計画の評価及び後期実施計画の考察（所管委員会）

施策番号	施策名	基本目標	政策名
3-1-1	生涯を通じた健康づくり	誰もが健康で自分らしく笑顔で暮らせるまちづくり	いつまでも健康で安心して暮らせる保健医療環境づくり

1. 施策の方針と成果指標

施策の方針		対象		意図			結果	
運動や食生活の改善などの推進により、健康的な生活習慣や食習慣を促すとともに、健診・保健指導などにより、自らが行動し生活習慣病を予防する健康づくりをすすめます。		町民		・健康的な生活習慣及び食習慣を身につけてもらう ・生活習慣病の有病者・予備軍を減少させる			心身ともに健康で生き生きと健やかに暮らせる	
成果指標	説明	単位	策定時(2017実績)	2019年度実績	2020年度実績	2021年度(予想)	2022年度目標	
① 日頃から健康的な生活習慣を身につけている方だと思ふ町民の割合	住民意識調査	%	71.4	65.6	62.7	70.0	77.0	
② 特定健診受診率	健診等成果	%	34.8	36.7	11月判明	40.0	55.0	
③								
④								
成果指標 設定の考え方	① 健康づくりのためには、日頃から健康的な生活習慣を身につけることが必要であることから、成果指標に設定した。(※住民意識調査の回答項目を5択→4択に変更) ② 「高齢者の医療の確保に関する法律」は、保険者に特定健康診査等実施計画の策定を義務付けており、当該計画では、国の目標値に合わせて受診率を設定していることから、成果指標に設定した。							

2. 施策の事業費

	2018年度決算	2019年度決算	2020年度決算
施策事業費（千円）	1,538,895	2,853,748	2,736,230
人工数（業務量）	8.7309	8.8631	10.4392

3. 施策の達成状況

(1) 施策の達成度とその考察			
①2020年度の成果評価	☐ 成果は向上した ☒ 成果は変わらなかった ☐ 成果は低下した	想定される理由	実績値は目標と乖離があるが、特定健診未受診者への個別通知・訪問などの受診勧奨強化に努め、目標を達成できる体制づくりが必要である。
②2022年度の目標達成見込み	☐ 現状の取組の延長で目標は達成できる ☒ 現状の取組の延長で目標達成は難しいが、現行事業の見直しや新規事業の企画実施で目標達成は可能 ☐ 事業の見直しや新規事業の企画実施をしても目標達成は難しい	根拠（理由）	特定健診受診者に対する健診事後指導や生活習慣病重症化予防のための家庭訪問を実施している。また、動機づけが重要であり、出前健康講座や健康ポイント制度の普及による意識啓発を継続し、目標達成をめざす。 節目年齢に対する健診料助成や未受診者への個別通知・訪問、医療機関からの情報提供、レセプトデータを活用した個別勧奨の強化を今後も継続する。 令和3年度から特定健診の自己負担額を軽減・定額化し、受診率向上を目指し、健康的な生活習慣等を促進する。
(2) 施策の成果評価に対する2020年度事務事業の総括			
①施策の成果向上に対して貢献度が高かった事務事業	特定健診事業 特定保健指導事業 成人健康教育相談事業 健康ポイント制度運営事業	②施策の成果向上に対して貢献度が低かった事務事業	
③事務事業全体の振り返り(総括)	・「特定健診、特定保健指導事業」→平成26年度から事務事業を住民生活課(国民健康保険所管課)に移管。特定健診未受診者への個別通知・訪問などの受診勧奨強化や健診受診者への家庭訪問等で保健・栄養指導を行い、脳血管疾患、心疾患などの予防及び重症化予防を図った。 ・「成人健康教育相談」→生活習慣改善のきっかけづくりを目指し、運動と食生活改善の学習や個別相談を行う運動講座を実施し、生活習慣病の予防を図った。 ・「健康ポイント制度運営事業」→平成27年度からポイント付与対象事業にサークル活動などの運動を加え、平成28年度からは有効期間を2年間に延長、更に、健康に関する講座・講演会への参加も対象とし参加拡大を図った。		

4. 総合計画審議会(外部評価)

評価	「C前進した」と評価する。		A	B	C	D	E
		進捗結果			○		
今後の取組 に対する 意見		A:実現した					
		B:(前期実施計画策定時と比較して)大きく前進した					
		C:(前期実施計画策定時と比較して)前進した					
		D:(前期実施計画策定時と比較して)変わらない又は維持した					
		E:(前期実施計画策定時と比較して)後退した					

委員会評価及び展望

(1) 施策の主な内容

1	健康づくりに向けた体制整備	展望	強化	維持	縮小	廃止
評価		展望				
2	学校・家庭・地域などの連携	展望	強化	維持	縮小	廃止
評価		展望				
3	生活習慣病の発症予防と重症化予防	展望	強化	維持	縮小	廃止
評価		展望				
4	社会生活を営むために必要な機能の維持・向上	展望	強化	維持	縮小	廃止
評価		展望				
5	食育の推進	展望	強化	維持	縮小	廃止
評価		展望				
6	特定健診受診率向上の取り組み	展望	強化	維持	縮小	廃止
評価		展望				
7		展望	強化	維持	縮小	廃止
評価		展望				
8		展望	強化	維持	縮小	廃止
評価		展望				

(2) 展望計画

1	一次予防を主とした健康づくり施策の継続	展望	強化	維持	縮小	廃止
考察		展望				
2	第2期芽室町データヘルス計画(平成30年度～平成35年度)の推進	展望	強化	維持	縮小	廃止
考察		展望				
3	第3期芽室町データヘルス計画(平成36年度～平成41年度予定)の推進	展望	強化	維持	縮小	廃止
考察		展望				
4	第5期芽室町健康づくり計画(平成35年度～平成38年度)の推進	展望	強化	維持	縮小	廃止
考察		展望				
5		展望	強化	維持	縮小	廃止
考察		展望				
6		展望	強化	維持	縮小	廃止
考察		展望				
7		展望	強化	維持	縮小	廃止
考察		展望				

(3) 施策

評価・考察		評価	実現	前進	維持	後退
		展望	強化	維持	縮小	廃止
		展望				

第5期芽室町総合計画前期実施計画の評価及び後期実施計画の考察（所管委員会）

施策番号	施策名	基本目標	政策名
3-1-2	公立芽室病院の総合的な医療体制の維持・発展	誰もが健康で自分らしく笑顔で暮らせるまちづくり	いつまでも健康で安心して暮らせる保健医療環境づくり

1. 施策の方針と成果指標

施策の方針		対象		意図				結果	
公立芽室病院が地域包括ケアシステムの中核施設として、また、「地域住民にとって不可欠な病院」として診療機能の充実を図り、町民の理解を経ながら病院づくりをすすめます。		公立芽室病院		持続可能な診療機能体制の構築と経営基盤の強化				質の高い医療の提供	
成果指標	説明	単位	策定時(2017実績)	2019年度実績	2020年度実績	2021年度(予想)	2022年度目標		
① 患者数(外来)	病院決算状況	人/年	74,477	61,506	50,206	65,061	70,000		
② 患者数(訪問診療)	病院決算状況	人/年	50	168	170	170	150		
③									
④									
成果指標設定の考え方		①患者数(外来):“かかりつけ医”の病院機能を伸長し、内科・総合診療科を中心に患者数増加を見込み設定 ②患者数(訪問診療):自宅での看取り希望のニーズ(70%)を踏まえつつ、当院体制を鑑み設定							

2. 施策の事業費

	2018年度決算	2019年度決算	2020年度決算
施策事業費(千円)	1,802,972	1,716,934	1,778,766
人工数(業務量)	6.3674	7.3747	9.0334

3. 施策の達成状況

(1) 施策の達成度とその考察			
①2020年度の成果評価	☐ 成果は向上した ☐ 成果は変わらなかった ☒ 成果は低下した	想定される理由	新型コロナウイルス感染症の流行状況に合わせた独自のフェーズで区分し、対応したことや、2度の院内集団感染に伴う外来等の停止が低下した大きな要因である。
②2022年度の目標達成見込み	☐ 現状の取組の延長で目標は達成できる ☒ 現状の取組の延長で目標達成は難しいが、現行事業の見直しや新規事業の企画実施で目標達成は可能 ☐ 事業の見直しや新規事業の企画実施をしても目標達成は難しい	根拠(理由)	今後も新型コロナウイルスの影響は続くことが予想され、患者数の回復は、非常に厳しい状況ではある。 しかし、新型コロナウイルス感染症に伴う国・道補助金の活用で感染対策の徹底、継続した医療提供や、経営コンサルの指導・助言を受けて、コロナ禍での収入の維持、終息を見据えた経営安定化を進めることで可能である。
(2) 施策の成果評価に対する2020年度事務事業の総括			
①施策の成果向上に対して貢献度が高かった事務事業	病院職員任免事務 医薬材料等購入事業 医療機器等整備事業	②施策の成果向上に対して貢献度が低かった事務事業	
③事務事業全体の振り返り(総括)	病院職員任免事務⇒新人看護師採用による平均年齢の低下、理学療法士2名・作業療法士1名を採用し、リハビリ部門の強化を図れた。 医薬材料等購入事業⇒患者数の減少で医薬品の購入費用は減少したが、感染対策用の診療材料、PCR検査用の診療材料を多く購入し、発熱外来や、保健所の指示によるPCR検査を行った。 医療機器等整備事業⇒新型コロナウイルス感染症に伴う補助金を活用し、感染対策に対応する医療機器等を購入し、PCR検査体制の整備、医療サービスの強化、安全・安心な医療体制を図った。		

4. 総合計画審議会(外部評価)

評価	「C前進した」と評価する。		A	B	C	D	E
		進捗結果			○		
今後の取組 に対する 意見	・町民に対して公立病院があるという安心感を与えていることに重きを置くべきではないか。 ・町民が公立芽室病院で健康診断を受けるメリットがあると(健診を)受診しやすくなり、病院とのパイプが強くなり安心感につながるのではないか。	A: 実現した					
		B: (前期実施計画策定時と比較して) 大きく前進した					
		C: (前期実施計画策定時と比較して) 前進した					
		D: (前期実施計画策定時と比較して) 変わらない又は維持した					
		E: (前期実施計画策定時と比較して) 後退した					

委員会評価及び展望

(1) 施策の主な内容

1	地域包括ケアシステムの構築	展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						
2	地域連携機能の充実	展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						
3	医療の質の確保	展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						
4	予防医療提供の推進	展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						
5	医師の確保	展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						
6	経営の安定化	展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						
7	医療機能の検証	展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						
8	施設整備	展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						

(2) 展望計画

1	建物の長寿命化計画の策定	展望	強化	維持	縮小	廃止
考察						
2	医療機器の計画的更新	展望	強化	維持	縮小	廃止
考察						
3		展望	強化	維持	縮小	廃止
考察						
4		展望	強化	維持	縮小	廃止
考察						
5		展望	強化	維持	縮小	廃止
考察						
6		展望	強化	維持	縮小	廃止
考察						
7		展望	強化	維持	縮小	廃止
考察						

(3) 施策

評価・考察		評価	実現	前進	維持	後退
		展望	強化	維持	縮小	廃止

第5期芽室町総合計画前期実施計画の評価及び後期実施計画の考察（所管委員会）

施策番号	施策名	基本目標
3-2-1	安心して生み育てることができる子育て支援	誰もが健康で自分らしく笑顔で暮らせるまちづくり
		政策名 安心して子育てできるまちづくり

1. 施策の方針と成果指標

施策の方針		対象		意図				結果	
妊娠・出産、子育てに関する悩み・不安の解消と地域社会の理解を深めることにより、まち全体による子育て支援体制の充実を図ります。		町民		・妊娠、出産及び子育てに対する不安や悩みを解消する ・子育てに対する地域社会の理解を深める				子育ての支援体制が充実し、安心して生み育てることができる	
成果指標	説明	単位	策定時(2017実績)	2019年度実績	2020年度実績	2021年度(予想)	2022年度目標		
① 育児が楽しいと感じる親の割合	乳幼児健診アンケート	%	87.6	87.0	87.6	89.0	90.0		
② 安心して子育てができる環境であると思う町民の割合	住民意識調査	%	96.5	87.9	89.0	90.0	90.0		
③									
④									
成果指標設定の考え方	①は、乳幼児健診の際に実施する保護者アンケートの結果を成果指標として設定。 ②は、町民を対象とした住民意識調査の結果を成果指標として設定。 (※住民意識調査の回答項目を5択→4択に変更)								

2. 施策の事業費

	2018年度決算	2019年度決算	2020年度決算
施策事業費（千円）	398,394	421,675	403,504
人工数（業務量）	11.2733	10.2842	8.2992

3. 施策の達成状況

(1) 施策の達成度とその考察			
①2020年度の成果評価	☒ 成果は向上した ☐ 成果は変わらなかった ☐ 成果は低下した	想定される理由	成果指標①②共に前年度より上昇 →子ども医療費の助成対象拡充や幼児教育・保育無償化等、子育て世帯の経済負担の軽減が要因と考えられる。
②2022年度の目標達成見込み	☒ 現状の取組の延長で目標は達成できる ☐ 現状の取組の延長で目標達成は難しいが、現行事業の見直しや新規事業の企画実施で目標達成は可能 ☐ 事業の見直しや新規事業の企画実施をしても目標達成は難しい	根拠（理由）	産前産後相談室及び産前産後ヘルパー事業を開始し、妊娠から出産、子育ての悩みや不安を解消する支援体制の充実を図っている。 子育て世帯の経済負担の軽減策を継続する必要がある。
(2) 施策の成果評価に対する2020年度事務事業の総括			
①施策の成果向上に対して貢献度が高かった事務事業	子ども医療費給付事業 子育て支援センター運営事業 子育て世代包括支援センター運営事業 発達支援センター運営事業	②施策の成果向上に対して貢献度が低かった事務事業	
③事務事業全体の振り返り(総括)	・「子ども医療給付事業」→平成31年4月から所得制限を撤廃し、中学生までの医療費の全額助成を行った。 ・「子育て支援センター運営事業、子育て世代包括支援センター運営事業」→妊娠から子育て期にわたるまでの様々な悩みを相談できたり、必要な支援を受けることができる体制を充実させた。 ・「発達支援センター運営事業」→発達に支援が必要な児童に対し、早期から専門的療育を行い、一貫性と継続性のある支援を行った。		

4. 総合計画審議会(外部評価)

評価	「C前進した」と評価する。		A	B	C	D	E
		進捗結果			○		
今後の取組 に対する 意見	・成果指標が向上している理由として、経済的負担の軽減が要因と 挙げられているが、経済的な部分だけではなく、心理的な部分、精 神的なソフト面での理由が成果指標向上の理由に上がってくるよう に取り組んでもらいたい。	A: 実現した					
		B: (前期実施計画策定時と比較して) 大きく前進した					
		C: (前期実施計画策定時と比較して) 前進した					
		D: (前期実施計画策定時と比較して) 変わらない又は維持した					
		E: (前期実施計画策定時と比較して) 後退した					

委員会評価及び展望

(1) 施策の主な内容

1	妊娠から出産、子育ての不安を解消する体制の整備	展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						
2	楽しく子育てできる支援体制の推進	展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						
3	子どもの健やかな発達を促す体制の推進	展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						
4	子育ての木委員会による機能的な連携体制	展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						
5	子どもの権利擁護の推進	展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						
6	社会全体で子育てを支える基盤づくり	展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						
7	子育て世帯の経済負担の軽減・子どもの貧困対策	展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						
8		展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						

(2) 展望計画

1	「発達支援システム」による一貫性・継続性のあるサポートの継続	展望	強化	維持	縮小	廃止
考察						
2		展望	強化	維持	縮小	廃止
考察						
3		展望	強化	維持	縮小	廃止
考察						
4		展望	強化	維持	縮小	廃止
考察						
5		展望	強化	維持	縮小	廃止
考察						
6		展望	強化	維持	縮小	廃止
考察						
7		展望	強化	維持	縮小	廃止
考察						

(3) 施策

評価・ 考察		評価	実現	前進	維持	後退
		展望	強化	維持	縮小	廃止

第5期芽室町総合計画前期実施計画の評価及び後期実施計画の考察（所管委員会）

施策番号	施策名	基本目標	政策名
3-2-2	子育て環境の充実	誰もが健康で自分らしく笑顔で暮らせるまちづくり	安心して子育てできるまちづくり

1. 施策の方針と成果指標

施策の方針		対象		意図			結果	
子どもの健やかな心身の成長を促すとともに、教育・保育相互の子ども情報の連携、保護者への教育情報の円滑な提供を促進します。		子ども、保護者		・子どもの健やかな心身の成長 ・教育・保育相互の連携が進み、保護者への教育情報の提供がスムーズになされる			保護者が安心して子どもを預けることができる	
成果指標	説明	単位	策定時(2017実績)	2019年度実績	2020年度実績	2021年度(予想)	2022年度目標	
① 保育所の保育サービスに満足している保護者の割合	保護者アンケート	%	認可89.4 農村97.9	95.8	96.2	95.0	95.0	
② 保育所待機児童数	実績数	人/年	0	0	0	0	0	
③								
④								
成果指標設定の考え方		①は、町内保育施設を利用する保護者アンケートの結果を成果指標として設定。 ②は、保育所待機児童数ゼロを継続するため、成果指標に設定。						

2. 施策の事業費

	2018年度決算	2019年度決算	2021年度決算
施策事業費（千円）	707,283	727,525	729,830
人工数（業務量）	4.0687	4.0060	2.8991

3. 施策の達成状況

(1) 施策の達成度とその考察			
①2020年度の成果評価	☒ 成果は向上した ☐ 成果は変わらなかった ☐ 成果は低下した	想定される理由	成果指標①保護者アンケート結果上昇 成果指標②保育所待機児童ゼロの継続 →安定した保護者が安心して子どもを預けられる体制を維持していることが要因と考えられる。
②2022年度の目標達成見込み	☒ 現状の取組の延長で目標は達成できる ☐ 現状の取組の延長で目標達成は難しいが、現行事業の見直しや新規事業の企画実施で目標達成は可能 ☐ 事業の見直しや新規事業の企画実施をしても目標達成は難しい	根拠（理由）	保護者ニーズを確認・検証しながら、保育サービスの充実を図る。 現状の保育施設の事業運営により、待機児童ゼロの継続は期待できる。
(2) 施策の成果評価に対する2020年度事務事業の総括			
①施策の成果向上に対して貢献度が高かった事務事業	保育事業 町立保育所運営事業 子どもセンター運営事業	②施策の成果向上に対して貢献度が低かった事務事業	
③事務事業全体の振り返り(総括)	・「保育事業、町立保育所運営事業」→私立の認可保育所や、認定こども園、小規模保育事業所のほか、町が2か所の保育所を運営し、多様な保育ニーズに応じており、待機児童ゼロを継続した。令和元年10月から幼児教育・保育無償化が開始され、町独自施策として3～5歳児の副食費を無償化し、保護者の経済的負担軽減を図った。 ・「子どもセンター運営事業」→町内2つの子どもセンターとみなみっ子児童館の運営を行った。子どもが放課後や長期休み期間を有意義に過ごせる安全安心な居場所となった。		

4. 総合計画審議会(外部評価)

評価	「C前進した」と評価する。		A	B	C	D	E
		進捗結果			○		
今後の取組 に対する 意見	・働きやすいという親の目線ではなく、子供にアンケートを取ることは難しいかもしれないが預けられる子供の目線も忘れないでいただきたい。／・風の子めむろについて、必要な子供のところへ届くよう、周知を徹底してほしい。様々な場所に申請書を置き、学校との連携や地域の民生委員の方に知らせるなどして、だれでも利用できるような体制にしてほしい。／・現場の声を聞きながら、子どもに何ができるのか連携し、考えていただきたい。	A:実現した B:(前期実施計画策定時と比較して)大きく前進した C:(前期実施計画策定時と比較して)前進した D:(前期実施計画策定時と比較して)変わらない又は維持した E:(前期実施計画策定時と比較して)後退した					

委員会評価及び展望

(1) 施策の主な内容

1	町内保育事業の充実	展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						
2	保育士の確保	展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						
3	子どもセンターなどの安定的な運営	展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						
4	私立幼稚園就園保護者の負担軽減	展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						
5	幼稚園・保育所に対する教育情報の提供及び加配職員の配置支援	展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						
6	認定こども園(幼保一体化機能)の検証	展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						
7	小学校との連携推進	展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						
8		展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						

(2) 展望計画

1	保育所待機児童数ゼロの継続と、さまざまな保育ニーズに対応し、安心して子どもを預けられる体制の維持	展望	強化	維持	縮小	廃止
考察						
2		展望	強化	維持	縮小	廃止
考察						
3		展望	強化	維持	縮小	廃止
考察						
4		展望	強化	維持	縮小	廃止
考察						
5		展望	強化	維持	縮小	廃止
考察						
6		展望	強化	維持	縮小	廃止
考察						
7		展望	強化	維持	縮小	廃止
考察						

(3) 施策

評価・考察		評価	実現	前進	維持	後退
		展望	強化	維持	縮小	廃止

第5期芽室町総合計画前期実施計画の評価及び後期実施計画の考察（所管委員会）

施策番号	施策名	基本目標
3-3-1	地域で支え合う福祉社会の実現	誰もが健康で自分らしく笑顔で暮らせるまちづくり 政策名 住み慣れた地域で安心して暮らせる福祉の充実

1. 施策の方針と成果指標

施策の方針		対象		意図				結果	
年代や世代、性別、障がいの有無に関わらず、地域全体がお互いに支え合える体制づくりをすすめます。		町民		住民同士で支え合う体制をつくる				住み慣れた地域で安心した生活を送ることができる	
成果指標	説明	単位	策定時(2017実績)	2019年度実績	2020年度実績	2021年度(予想)	2022年度目標		
① ボランティア活動に参加した町民の割合	住民意識調査	%	32.3	30.5	27.6	30.0	35.0		
② たすけあい活動参加町内会(市街地)・行政区(農村部)数	社会福祉協議会調べ	件	51	52	52	52	60		
③ 住んでいる地域は、住民同士支え合う体制ができていると思う町民の割合	住民意識調査	%	80.6	57.1	58.1	60.0	80.0		
④									
成果指標設定の考え方		① ボランティア活動への参加が、住民同志のコミュニケーションづくりに繋がることから、成果指標に設定した。 ② たすけあい活動への参加が、町内会活動など住民同志の支え合いに繋がることから、成果指標に設定した。 ③ 地域住民の支え合いに関する意識を客観的に表す指標として、住民意識調査を成果指標に設定した。 各成果指標とも策定時の数値を上回ることを目指し、目標値を設定した。 (※住民意識調査の回答項目を5択→4択に変更)							

2. 施策の事業費

	2018年度決算	2019年度決算	2020年度決算
施策事業費（千円）	25,513	35,577	38,028
人工数（業務量）	1.3088	1.5624	1.0087

3. 施策の達成状況

(1) 施策の達成度とその考察			
①2020年度の成果評価	☐ 成果は向上した ☒ 成果は変わらなかった ☐ 成果は低下した	想定される理由	成果指標①は微減、②③は横ばい又は微増傾向にある。数値による客観的な成果は認めづらいが、ボランティアセンター登録団体による色々な取組みが継続・拡充されている。
②2022年度の目標達成見込み	☐ 現状の取組の延長で目標は達成できる ☒ 現状の取組の延長で目標達成は難しいが、現行事業の見直しや新規事業の企画実施で目標達成は可能 ☐ 事業の見直しや新規事業の企画実施をしても目標達成は難しい	根拠(理由)	・ボランティアセンター登録団体数は横ばいから微減傾向で推移しているが、現在登録している団体は、各々定期的・継続的に活動している。 ・福祉施設等の依頼によるイベント・外出行事の個人ボランティアや事業に対する協力も継続されているなど、地域内の相互援助に関する意識醸成も一定程度進んでいる。
(2) 施策の成果評価に対する2020年度事務事業の総括			
①施策の成果向上に対して貢献度が高かった事務事業	社会福祉協議会活動支援事業 ボランティアセンター運営支援事業	②施策の成果向上に対して貢献度が低かった事務事業	
③事務事業全体の振り返り(総括)	・社会福祉協議会は、町の地域福祉を推進する中核的な役割を担う組織であり、従前にも増して地域交流サロンやボランティアの資源開発など、地域に根差した活動を展開している。 ・本町におけるボランティア活動の推進役として、町内関係機関とネットワークを作り、より裾野の広い多様な担い手の発見や育成、得意分野で活動できる多様な場の開拓、それらをマッチングするコーディネート機能を求め、その活動を支援している。		

4. 総合計画審議会(外部評価)

評価	「D変わらない又は維持した」と評価する。		A	B	C	D	E
		進捗結果				○	
今後の取組 に対する 意見	・地域活動の担い手不足解消のため、コミュニティスクールに関係者やPTAのOBOGに声をかける等連携できると良い／・民生委員の精神的負担軽減のため、複数人で協力・相談しあえる担当制など新たな在り方の検討が必要／・行政と民間企業、住民活動団体、シニアワークセンターなどとの連携があればいい。／・「向こう三軒両隣」による支え合いには、「町内会との連携」が欠かせないのではないか。	A: 実現した					
		B: (前期実施計画策定時と比較して) 大きく前進した					
		C: (前期実施計画策定時と比較して) 前進した					
		D: (前期実施計画策定時と比較して) 変わらない又は維持した					
		E: (前期実施計画策定時と比較して) 後退した					

委員会評価及び展望

(1) 施策の主な内容

1	地域における支え合い活動の推進	展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						
2	地域における総合的な保健・福祉サービス利用の推進	展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						
3	地域福祉を推進する体制づくり	展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						
4		展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						
5		展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						
6		展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						
7		展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						
8		展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						

(2) 展望計画

1	第5期芽室町地域福祉計画(平成35年度～平成38年度)の推進	展望	強化	維持	縮小	廃止
考察						
2		展望	強化	維持	縮小	廃止
考察						
3		展望	強化	維持	縮小	廃止
考察						
4		展望	強化	維持	縮小	廃止
考察						
5		展望	強化	維持	縮小	廃止
考察						
6		展望	強化	維持	縮小	廃止
考察						
7		展望	強化	維持	縮小	廃止
考察						

(3) 施策

評価・考察		評価	実現	前進	維持	後退
		展望	強化	維持	縮小	廃止

第5期芽室町総合計画前期実施計画の評価及び後期実施計画の考察（所管委員会）

施策番号	施策名	基本目標	政策名
3-3-2	高齢者福祉の充実	誰もが健康で自分らしく笑顔で暮らせるまちづくり	住み慣れた地域で安心して暮らせる福祉の充実

1. 施策の方針と成果指標

施策の方針		対象		意図			結果	
高齢者の方々の健康づくりや社会参加を推進し、住み慣れた地域で自分らしく安心して生活できるような適切なサービスを提供します。		高齢者（65歳以上）		・高齢者の健康づくりを推進する ・高齢者の活躍と社会参加の推進を図る ・暮らしの安心と不便の解消を図る ・適切なサービスを利用できるようにする			高齢者が住み慣れた地域で安心して生活できる	
成果指標	説明	単位	策定時(2017実績)	2019年度実績	2020年度実績	2021年度(予想)	2022年度目標	
① 高齢者にとって暮らしやすいまちだと思える高齢者の割合	住民意識調査	%	77.5	61.3	72.3	77.5	81.8	
② やりがいのある趣味や運動、仕事に取り組んでいる高齢者の割合	住民意識調査	%	56.6	69.3	68.3	64.2	64.2	
③ 芽室町の福祉サービスに満足している高齢者の割合	住民意識調査	%	90.7	75.9	84.4	90.7	92.0	
④								
成果指標設定の考え方	① 高齢者が暮らしやすさを感じる客観的数値を捕捉する必要があるため、成果指標に設定した。 ② 活動的な高齢者の割合が増えることが介護予防につながることから、成果指標に設定した。 ③ 町内で提供される福祉サービスに対する高齢者の満足度を捕捉する必要があるため、成果指標に設定した。（※住民意識調査の回答項目を5択→4択に変更） 各成果指標とも策定時の数値を上回ることを目指し、目標値を設定した。							

2. 施策の事業費

	2018年度決算	2019年度決算	2020年度決算
施策事業費（千円）	1,795,892	1,899,174	1,937,565
人工数（業務量）	10.3883	10.2964	9.8679

3. 施策の達成状況

(1) 施策の達成度とその考察			
①2020年度の成果評価	☒ 成果は向上した ☐ 成果は変わらなかった ☐ 成果は低下した	想定される理由	成果指標①③は策定時を下回るも前年比較では上昇、②は目標値以上を維持したことから、成果は向上したと考える。 相談支援体制と介護予防・介護サービスのタイムリーな提供等による、地域包括ケアシステムの推進によるものと考えている。
②2022年度の目標達成見込み	☒ 現状の取組の延長で目標は達成できる ☐ 現状の取組の延長で目標達成は難しいが、現行事業の見直しや新規事業の企画実施で目標達成は可能 ☐ 事業の見直しや新規事業の企画実施をしても目標達成は難しい	根拠（理由）	成果指標①②は、高齢者の自立支援、介護予防、重度化防止に係る施策の推進と生活支援体制整備を進め、生きがいや目標をもって生活できる高齢者を更に増やすことにより達成できると考える。 成果指標③については、住み慣れた地域で日常生活を営むための、在宅医療・在宅介護サービスの推進等により達成できると考える。
(2) 施策の成果評価に対する2020年度事務事業の総括			
①施策の成果向上に対して貢献度が高かった事務事業	地域包括支援センター運営事業 生活支援体制整備事業 高齢者支援活動推進事業	②施策の成果向上に対して貢献度が低かった事務事業	
③事務事業全体の振り返り(総括)	・「地域包括支援センター運営支援事業」→要支援認定者のケアプラン作成、総合相談業務、権利擁護事業、ケアマネジメントの強化支援を通じ福祉・介護サービスの適切な提供に努めると共に、ケアマネネットワーク会議等を開催し町内関係職員間の情報交換を行い介護の質の向上を図った。 ・「生活支援体制整備事業」→医療、介護等の公的サービスだけでなく、ボランティア・民間企業・地縁組織等多様な主体が高齢者の生活支援サービスの担い手となる体制づくりと高齢者の社会参加を一体的に推進するため、生活支援コーディネーターを配置し、住民による協議体を設置した。 「高齢者支援活動推進事業」→町民が自発的な活動として行う高齢者への生活支援活動、介護予防活動及び交流支援活動に対して報償費を支給することで、活動の開始や継続を推奨する取り組みを実施した。		

4. 総合計画審議会(外部評価)

評価	コロナ禍においても、成果指標①～③がほぼ横ばい、あるいは上回っている。様々な活動と成果指標から「C前進した」と評価する。		A	B	C	D	E
		進捗結果			○		
今後の取組 に対する 意見	・高齢者が住み続けられる環境として、介護職を増やすばかりではない方向で考えていくべき／・介護保険料の基準額変動の根拠や、介護予防の必要性や協力について周知が必要／・地域包括支援センターの民間委託先は現在の質を落とさずきめ細かい対応が可能な事業所に選定を。／・高齢者にとっての暮らしやすさ・必要なサービスの把握も大切である。／・高齢者の健康づくりや「地域包括ケアシステム」を推進する取り組みを継続していただきたい。	A:実現した					
		B:(前期実施計画策定時と比較して)大きく前進した					
		C:(前期実施計画策定時と比較して)前進した					
		D:(前期実施計画策定時と比較して)変わらない又は維持した					
		E:(前期実施計画策定時と比較して)後退した					

委員会評価及び展望

(1) 施策の主な内容

1	高齢期の健康づくり	展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						
2	高齢者の活躍と社会参加の推進	展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						
3	暮らしの安心と不便の解消	展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						
4	自立支援、介護予防、重度化防止の推進	展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						
5	医療・介護の連携の推進	展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						
6	介護サービス基盤の整備等	展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						
7	地域支援事業の推進	展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						
8	介護保険財政の健全な運営	展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						

(2) 展望計画

1	第8期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画(平成33年度～ 35年度)の推進	展望	強化	維持	縮小	廃止
考察						
2	第9期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画(平成36年度～ 38年度)の推進	展望	強化	維持	縮小	廃止
考察						
3		展望	強化	維持	縮小	廃止
考察						
4		展望	強化	維持	縮小	廃止
考察						
5		展望	強化	維持	縮小	廃止
考察						
6		展望	強化	維持	縮小	廃止
考察						
7		展望	強化	維持	縮小	廃止
考察						

(3) 施策

評価・考察		評価	実現	前進	維持	後退
		展望	強化	維持	縮小	廃止

第5期芽室町総合計画前期実施計画の評価及び後期実施計画の考察（所管委員会）

施策番号	施策名	基本目標	政策名
3-3-3	障がい者の自立支援と社会参加の促進	誰もが健康で自分らしく笑顔で暮らせるまちづくり	住み慣れた地域で安心して暮らせる福祉の充実

1. 施策の方針と成果指標

施策の方針		対象		意図			結果	
障害福祉サービスや相談などの支援により、障がいのある方の社会復帰、社会参加をすすめます。		障がい者・児		・社会復帰及び社会参加を促す			安心と生きがいを持って生活できる	
成果指標	説明	単位	策定時(2017実績)	2019年度実績	2020年度実績	2021年度(予想)	2022年度目標	
① 障がい者にとって暮らしやすいまちだと思う町民の割合	住民意識調査	%	84.7	73	72.1	72.1	88.0	
② 就労支援事業所から一般就労した方の人数(H31～H34累計)	健康福祉課(旧保健福祉課)調べ	人	8	1	1	4	12	
③								
④								
成果指標設定の考え方		① 地域住民の障がい福祉に係る意識を客観的に表す指標として、住民意識調査を成果指標に設定した。(※住民意識調査の回答項目を5択→4択に変更) ② 平成29年度までに13人が一般就労に移行したが、今後も段階的に15人の一般就労を目指す。 * 従前は、「福祉サービス利用者数」を成果指標としていたが、成果に直結する指標とは言いきれないため変更した。 成果指標①は、当面の目標値を、成果指標②は、策定時の数値を上回ることを目指し、目標値を設定した。						

2. 施策の事業費

	2018年度決算	2019年度決算	2021年度決算
施策事業費（千円）	587,326	642,348	630,083
人工数（業務量）	3.1368	3.2339	3.9535

3. 施策の達成状況

(1) 施策の達成度とその考察			
①2020年度の成果評価	☒ 成果は向上した ☐ 成果は変わらなかった ☐ 成果は低下した	想定される理由	数値(指標)による直接的な評価把握は困難であるが、相談支援体制の整備が進んでいること、生活体験住宅の整備と運用、福祉就労事業所の充実、一般就労移行促進の取組みが進んでいることから「成果は向上した」と評価した。
②2022年度の目標達成見込み	☒ 現状の取組の延長で目標は達成できる ☐ 現状の取組の延長で目標達成は難しいが、現行事業の見直しや新規事業の企画実施で目標達成は可能 ☐ 事業の見直しや新規事業の企画実施をしても目標達成は難しい	根拠(理由)	相談支援業務の体制整備、多様なニーズや困難ケースに対する体制強化を図ったことにより、福祉サービスのタイムリーな利用が図られており、おおむね目標値に達していると考えられる。福祉就労事業所の事業拡大支援や企業支援の視点も含めた一般就労定着支援の強化、障がい者雇用に対する企業側のニーズが認められ、これらの取組みを進めることで、目標を達成することができる。
(2) 施策の成果評価に対する2020年度事務事業の総括			
①施策の成果向上に対して貢献度が高かった事務事業	障害者相談支援事業 障害者就労支援事業	②施策の成果向上に対して貢献度が低かった事務事業	
③事務事業全体の振り返り(総括)	・平成27年度から帯広市の事業所に相談支援事業の一部委託をしていたため、町内における相談体制の構築が大きな課題であったが、令和3年度から町内に相談事業所が新たに2か所開設されるなど、計画相談を含む基本相談支援体制の整備・構築を図ることができた。 ・働く障がい者の職場実習を通じて社会参加や外出の機会に繋がっているほか、JAめむろを通じて収穫体験を実施するなど「農福連携」にも取り組んでいる。		

4. 総合計画審議会(外部評価)

評価	相談業務の充実、一般就労や農福連携の取り組みなど、全体的に前進しているため「C前進した」と評価する。		A	B	C	D	E
		進捗結果			○		
今後の取組 に対する 意見	・取り組みは進んでいると思う。(障がいをもっと個性として受け入れ、自然に共存できるようになると思う。 ・A型事業者から一般就労につながり自立した方たちの住まいを積極的に考えてほしい。	A:実現した					
		B:(前期実施計画策定時と比較して)大きく前進した					
		C:(前期実施計画策定時と比較して)前進した					
		D:(前期実施計画策定時と比較して)変わらない又は維持した					
		E:(前期実施計画策定時と比較して)後退した					

委員会評価及び展望

(1) 施策の主な内容

1	早期発見及び早期支援	展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						
2	就労支援体制の強化	展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						
3	生活支援の充実	展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						
4	支援を広げるための施策の充実	展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						
5		展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						
6		展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						
7		展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						
8		展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						

(2) 展望計画

1	障がいのある人の状況や「親亡き後」に対応したグループホームなどの地域生活のための整備	展望	強化	維持	縮小	廃止
考察						
2	第6期芽室町障がい者福祉計画(平成33年度～平成35年度)の推進	展望	強化	維持	縮小	廃止
考察						
3	第7期芽室町障がい者福祉計画(平成36年度～平成38年度)の推進	展望	強化	維持	縮小	廃止
考察						
4		展望	強化	維持	縮小	廃止
考察						
5		展望	強化	維持	縮小	廃止
考察						
6		展望	強化	維持	縮小	廃止
考察						
7		展望	強化	維持	縮小	廃止
考察						

(3) 施策

評価・考察		評価	実現	前進	維持	後退
		展望	強化	維持	縮小	廃止

第5期芽室町総合計画前期実施計画の評価及び後期実施計画の考察（所管委員会）

施策番号	施策名	基本目標	政策名
3-4-1	互いに認め合う地域社会の形成	誰もが健康で自分らしく笑顔で暮らせるまちづくり	誰もが個性と能力を発揮できる地域社会の実現

1. 施策の方針と成果指標

施策の方針		対象		意図			結果	
性別、年齢、障がいの有無などに関わりなく、誰もが個性と能力を十分に発揮できる社会の形成及び人権を尊重し差別や権利侵害のない地域づくりをすすめます		町民		・誰もがその個性と能力を十分に発揮できるようにする ・人権を守り、権利侵害(擁護)への意識を高める			誰もが個々を認め、支え合うことができる社会の形成及び人権を尊重し合う社会を築くことができる	
成果指標	説明	単位	策定時(2017実績)	2019年度実績	2020年度実績	2021年度(予想)	2022年度目標	
① 性別に関係なく社会進出(参加)できる町だと思ふ町民の割合	住民意識調査	%	88.1	65.0	63.2	70.0	90.0	
② 人権が尊重され、差別や人権侵害がない町だと思ふ町民の割合	住民意識調査	%	94.0	69.6	72.6	80.0	90.0	
③								
④								
成果指標設定の考え方		① 性別に左右されない社会進出(参加)に関する住民の意識を客観的に表す指標として、住民意識調査を成果指標に設定した。 ② 人権尊重に関する住民の意識を客観的に表す指標として、住民意識調査を成果指標に設定した。 * 従前は、「審議会等委員への女性登用率」を成果指標としていたが、成果に直結する指標とは言いきれないため変更した。 各成果指標とも策定時の数値を上回ることを目指し、目標値を設定した。 (※住民意識調査の回答項目を5択→4択に変更)						

2. 施策の事業費

	2018年度決算	2019年度決算	2020年度決算
施策事業費（千円）	7,287	7,495	6,669
人工数（業務量）	0.7333	0.6150	0.2792

3. 施策の達成状況

(1) 施策の達成度とその考察				
①2020年度の成果評価	☐ 成果は向上した ☒ 成果は変わらなかった ☐ 成果は低下した	想定される理由	成果指標は、①②とも下降しているが、具体的・直接的な成果は大きく変わらなかったものとする。	
②2022年度の目標達成見込み	☐ 現状の取組の延長で目標は達成できる ☒ 現状の取組の延長で目標達成は難しいが、現行事業の見直しや新規事業の企画実施で目標達成は可能 ☐ 事業の見直しや新規事業の企画実施をしても目標達成は難しい	根拠（理由）	成果指標①は、男女共同参画基本計画の進捗管理や意識啓発事業を継続して実施することにより目標達成を目指す。 成果指標②は、人権擁護委員による啓発活動や相談窓口の開設、高齢者や障がい者を対象とした成年後見推進事業の周知により目標達成は可能である。	
(2) 施策の成果評価に対する2020年度事務事業の総括				
①施策の成果向上に対して貢献度が高かった事務事業	男女共同参画推進事業	②施策の成果向上に対して貢献度が低かった事務事業		
	帯広人権擁護委員協議会参画事業			
	成年後見推進事業			
③事務事業全体の振り返り(総括)	・「男女共同参画推進事業」→第2期芽室町男女共同参画基本計画の進捗管理や事業手法の検討を行った。 ・「帯広人権擁護委員協議会参画事業」→人権擁護委員による人権相談や啓発普及活動のほか、子供たちを対象にした「芽室町人権の花運動」を実施し、人権を尊重する意識の醸成を図った。 ・「成年後見推進事業」→①市民後見人養成研修生の育成・支援、②成年後見制度に関する相談・支援、③広報・啓発を実施したほか、令和2年度はニーズ調査を実施し、今後の高齢者や障がい者の権利擁護支援体制構築につなげる。			

7. 総合計画審議会(外部評価)

評価	芽室町の認め合いの社会意識は高いと思うが、指標や様々な項目から大きな前進は感じられなかったため「D変わらない・維持した」と評価する。		A	B	C	D	E
		進捗結果				○	
今後の取組に対する意見	・人権の花運動がどのように意識醸成につながるのかわからない。事業見直しも必要ではないか。／・心配事に対応できる相談窓口があったらよい。／・審議会等を実施する際、zoomの活用・時間帯や日程の工夫を工夫することで、(男女問わず)どんな人でも気軽に参加できるのではないかな。／・成年後見制度の利用増加が見込まれることから、中核機関等の整備に向けた取り組みが必要。／・相手の気持ちを思いやる心は、一朝一夕では育てられないので、小さいときから生命の尊さを実感し、ふれあうことが大切ではないか。	A: 実現した					
		B: (前期実施計画策定時と比較して) 大きく前進した					
		C: (前期実施計画策定時と比較して) 前進した					
		D: (前期実施計画策定時と比較して) 変わらない又は維持した					
		E: (前期実施計画策定時と比較して) 後退した					

委員会評価及び展望

(1) 施策の主な内容

1	人権を尊重する社会の実現	展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						
2	男女共同参画への意識啓発	展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						
3	アイヌ住民福祉の向上	展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						
4	子ども、配偶者、障がい者、高齢者などの権利擁護	展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						
5		展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						
6		展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						
7		展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						
8		展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						

(2) 展望計画

1	一層進行する高齢社会に対応する高齢者権利擁護事業の継続実施	展望	強化	維持	縮小	廃止
考察						
2	平和意識の醸成と町民一人ひとりが差別解消のために主体的に取り組むための事業推進	展望	強化	維持	縮小	廃止
考察						
3		展望	強化	維持	縮小	廃止
考察						
4		展望	強化	維持	縮小	廃止
考察						
5		展望	強化	維持	縮小	廃止
考察						
6		展望	強化	維持	縮小	廃止
考察						
7		展望	強化	維持	縮小	廃止
考察						

(3) 施策

評価・考察		評価	実現	前進	維持	後退
		展望	強化	維持	縮小	廃止

第5期芽室町総合計画前期実施計画の評価及び後期実施計画の考察（所管委員会）

施策番号	施策名	基本目標	自然と共生する災害に強い安全・安心のまちづくり
4-1-1	災害に強いまちづくりの推進	政策名	安全・安心に暮らせる生活環境づくり

1. 施策の方針と成果指標

施策の方針		対象	意図					結果
災害の未然防止と、災害時または災害が発生するおそれがある時に、迅速かつ的確に対応します。		町民、町	・災害の未然防止を図るとともに、災害時又は災害が発生するおそれがある時に、迅速かつ的確に対応					住民の日常生活の安全・安心が確保される災害時には被害が最小限になる
成果指標	説明	単位	策定時(2017実績)	2019年度実績	2020年度実績	2021年度(予想)	2022年度目標	
① 住んでいる地域の避難場所を知っている町民の割合	住民意識調査	%	83.5	87.0	83.2	84.0	84.0	
② めむろ安心メール登録者数	総務課調べ	件	2,025	2,439	2,960	3,000	3,000	
③ 一般住宅の耐震化率	都市経営課(旧建設都市整備課)調べ	%	91.0	92.7	93.2	94.1	95.0	
④								
成果指標設定の考え方		①策定時の数値を基に認知度を引き上げ、84.0%以上を維持することを目標に設定したもの。 ②策定時の数値を基に毎年段階的に引き上げ、3,000件到達を目指し設定したもの。 ③耐震改修促進計画では2017年度の耐震化率は91.0%であり、2022年度は95.0%を目指し設定したもの。						

2. 施策の事業費

	2018年度決算	2019年度決算	2021年度決算
施策事業費（千円）	373,512	55,828	202,372
人工数（業務量）	1.4669	1.4114	1.0697

3. 施策の達成状況

(1) 施策の達成度とその考察			
①2020年度の 成果評価	☐ 成果は向上した	想定され る理由	①は微減であるが、特筆すべき理由は無し。 ②は、全国的な自然災害の多発や新型コロナウイルス感染症の拡大により、住民の防災情報等に対する関心度が増したものと考えられる。 ③は、町が実施する無料耐震診断及び耐震改修補助制度の利用により、数値が上昇したものと考えられる。
	☒ 成果は変わらなかった		
	☐ 成果は低下した		
②2022年度の目 標達成見込み	☒ 現状の取組の延長で目標は達成できる	根拠 (理由)	①・②は、住民の災害に対する意識が高まっていることから、防災広報・教育を継続して実施することで目標達成は可能と考える。 ③は、町が実施する無料耐震診断及び耐震改修補助制度の実施により、耐震化率の向上が図られるため、目標達成は可能と考える。
	☐ 現状の取組の延長で目標達成は難しいが、現行事業の見直しや新規事業の企画実施で目標達成は可能		
	☐ 事業の見直しや新規事業の企画実施をしても目標達成は難しい		
(2) 施策の成果評価に対する2020年度事務事業の総括			
①施策の成果向 上に対して貢献 度が高かった事 務事業	建築物耐震化促進事業	②施策の成果向 上に対して貢献 度が低かった事 務事業	
	地域防災対策事業		
③事務事業全体 の振り返り(総括)	・これまでの洪水災害や地震等の対応状況を踏まえ、防災拠点倉庫を整備した。 ・浸水想定区域の見直しに併せて、災害告知用戸別端末(防災ラジオ)の配付対象者拡大を図った。 ・町が実施する無料耐震診断や耐震改修補助制度の実施により、住宅の耐震化率が向上した。		

7. 総合計画審議会(外部評価)

評価	「C前進した」と評価する。		A	B	C	D	E
		進捗結果			○		
今後の取組 に対する 意見	・災害といっても自然災害ではなく、色々な災害があるので、茅室町独自のラジオの使い方はできないか。 ・町内会連合会と連携することが効果的だと思います。 ・「防災フェス」をより規模の大きいものにして、多くの町民に参加してもらえるイベントにしていきたい。 ・「めむろ安心メール」の登録者数を増加させるための取り組みを積極的に行っていただきたい。	A: 実現した					
		B: (前期実施計画策定時と比較して) 大きく前進した					
		C: (前期実施計画策定時と比較して) 前進した					
		D: (前期実施計画策定時と比較して) 変わらない又は維持した					
		E: (前期実施計画策定時と比較して) 後退した					

委員会評価及び展望

(1) 施策の主な内容

1	防災対策事業の推進	展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						
2	耐震化の推進	展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						
3	災害対応の強化	展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						
4		展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						
5		展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						
6		展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						
7		展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						
8		展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						

(2) 展望計画

1	自助・共助のさらなる強化	展望	強化	維持	縮小	廃止
考察						
2	自主防災組織の設立促進及び自主活動できる仕組みの確立	展望	強化	維持	縮小	廃止
考察						
3	避難行動要支援者個別計画の全員作成	展望	強化	維持	縮小	廃止
考察						
4		展望	強化	維持	縮小	廃止
考察						
5		展望	強化	維持	縮小	廃止
考察						
6		展望	強化	維持	縮小	廃止
考察						
7		展望	強化	維持	縮小	廃止
考察						

(3) 施策

評価・考察		評価	実現	前進	維持	後退
		展望	強化	維持	縮小	廃止

第5期芽室町総合計画前期実施計画の評価及び後期実施計画の考察（所管委員会）

施策番号	施 策 名	基本目標	自然と共生する災害に強い安全・安心のまちづくり
4-1-2	消防・救急の充実	政策名	安全・安心に暮らせる生活環境づくり

1. 施策の方針と成果指標

施策の方針		対象		意図				結果	
災害の拡大防止と、緊急時の迅速かつ的確な対応に向けた備えをすすめます。		町民、消防・救急体制		・予防意識の醸成と、災害・緊急時の迅速かつ的確な支援 ・消防・救急体制の充実を図る				町民の生命・財産を守る	
成果指標	説明	単位	策定時(2017実績)	2019年度実績	2020年度実績	2021年度(予想)	2022年度目標		
① 住宅用火災警報器の設置率	消防署調べ	%	77.05	68.0	63.0	70.0	90.0		
② 火災出動件数	消防署調べ	件	8	8	14	10	10		
③ 防火講習会・普通救命講習会参加者数	消防署調べ	人	2,603	1,200	165	2,200	2,200		
④									
成果指標設定の考え方	①1年7%上昇を目標として算出したもの。 ②近年の火災出動の動向を基に目標値を算出したもの。 ③自主防災組織数の増加による参加者増を見込んで算出したもの。								

2. 施策の事業費

	2018年度決算	2019年度決算	2020年度決算
施策事業費（千円）	376,801	419,210	367,411
人工数（業務量）			

3. 施策の達成状況

(1) 施策の達成度とその考察			
①2020年度の 成果評価	☐ 成果は向上した ☐ 成果は変わらなかった ☒ 成果は低下した	想定され る理由	①調査方法による振れ幅と考える。→過去7年間の平均 値約70%。 ②③成果指標共に低下→新型コロナウイルス感染防止 対策として各種事業を中止したことが要因と考えられる。
②2022年度の目 標達成見込み	☐ 現状の取組の延長で目標は達成でき る	根拠 (理由)	①従来の取り組みの他、設置調査を通じて住警器の必要 性について認知度向上に努める。また、新たな取組みに 向けての協議を推進する。 ②従来の取り組みを強化する他、消防職員による防火パ トロールを推進し目標値達成を目指す。 ③自主防災組織・町内会・企業へ講習会開催の働きかけ を強化する。
	☒ 現状の取組の延長で目標達成は難し いが、現行事業の見直しや新規事業の 企画実施で目標達成は可能		
	☐ 事業の見直しや新規事業の企画実施 をしても目標達成は難しい		
(2) 施策の成果評価に対する2020年度事務事業の総括			
①施策の成果向 上に対して貢献 度が高かった事 務事業	芽室消防署活動事業	②施策の成果向 上に対して貢献 度が低かった事 務事業	
	芽室消防団運営事業		
	芽室消防庁舎維持管理事業		
③事務事業全体 の振り返り(総括)	・「芽室消防署活動事業」→消防が目的としている町民の生命、身体及び財産を災害から守るため、計画的に安全装備及び各種資機材の整備・更新を図り、災害現場において消防隊が安全・迅速な活動を遂行することができた。 ・「芽室消防団運営事業」→消防団設備整備費補助金を活用し、部隊間の正確な情報共有を行うために必要な装備として、高性能デジタル簡易携帯無線機を導入し、災害現場における安全・迅速な活動体制の構築を図った。 ・「芽室消防庁舎維持管理事業」→とちぎ広域消防事務組合ネットワーク基盤整備に伴い、業務の効率化を踏まえた機能的なレイアウトを目的としたOAフロア化(事務所床改修工事)を実施したことで、良好な執務環境の構築を図ることができた。		

4. 総合計画審議会(外部評価)

評価	前進したとまでは言えないが、後退したということも言えない。施策の結果から「D変わらない又は維持した」と評価する。		A	B	C	D	E
		進捗結果				○	
今後の取組 に対する 意見		A: 実現した					
		B: (前期実施計画策定時と比較して) 大きく前進した					
		C: (前期実施計画策定時と比較して) 前進した					
		D: (前期実施計画策定時と比較して) 変わらない又は維持した					
		E: (前期実施計画策定時と比較して) 後退した					

委員会評価及び展望

(1) 施策の主な内容

1	住宅用火災警報器の設置促進と火災予防対策	展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						
2	防火講習会・普通救命講習	展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						
3	消防・救急体制の充実	展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						
4		展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						
5		展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						
6		展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						
7		展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						
8		展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						

(2) 展望計画

1	火災予防や防災意識高揚のための広報活動や講習会の継続	展望	強化	維持	縮小	廃止
考察						
2	高度な消防体制や高度救急医療の充実に向けた消防車両や各種装備などの計画的な更新、整備	展望	強化	維持	縮小	廃止
考察						
3	「消防力の整備指針」に基づく職員体制の検討	展望	強化	維持	縮小	廃止
考察						
4		展望	強化	維持	縮小	廃止
考察						
5		展望	強化	維持	縮小	廃止
考察						
6		展望	強化	維持	縮小	廃止
考察						
7		展望	強化	維持	縮小	廃止
考察						

(3) 施策

評価・考察		評価	実現	前進	維持	後退
		展望	強化	維持	縮小	廃止

第5期芽室町総合計画前期実施計画の評価及び後期実施計画の考察（所管委員会）

施策番号	施策名	基本目標
4-1-3	防犯対策と交通安全の推進	自然と共生する災害に強い安全・安心のまちづくり
		政策名 安全・安心に暮らせる生活環境づくり

1. 施策の方針と成果指標

施策の方針		対象	意図					結果
地域が一体となった防犯体制・交通事故防止に向けた取組をすすめます。		町民、町内会	・犯罪事故発生の抑制 ・交通事故の未然防止					町民の日常生活の安全・安心が確保される
成果指標	説明	単位	策定時(2017実績)	2019年度実績	2020年度実績	2021年度(予想)	2022年度目標	
① 芽室町は防犯対策が十分であると思う町民の割合	住民意識調査	%	未調査	64.2	67.4	73.7	80.0%以上	
② 日頃、交通ルールを守っていると思う町民の割合	住民意識調査	%	未調査	96.3	96.8	97.3	80.0%以上	
③								
④								
成果指標設定の考え方		①策定時は未実施であったが、毎年段階的に引き上げ、目標値を目指すもの。 ②策定時は未実施であったが、80.0%以上を維持することを目標に設定したもの。						

2. 施策の事業費

	2018年度決算	2019年度決算	2020年度決算
施策事業費（千円）	16,500	15,911	15,037
人工数(業務量)	1.0261	1.0250	0.9743

3. 施策の達成状況

(1) 施策の達成度とその考察			
①2020年度の成果評価	☐ 成果は向上した ☒ 成果は変わらなかった ☐ 成果は低下した	想定される理由	策定時は未実施のため評価はできないが、前年比較では①②共に向上している。→定期的な交通安全運動などの実施により、交通ルールを守っている町民が多いことから、目標値を維持している。
②2022年度の目標達成見込み	☒ 現状の取組の延長で目標は達成できる ☐ 現状の取組の延長で目標達成は難しいが、現行事業の見直しや新規事業の企画実施で目標達成は可能 ☐ 事業の見直しや新規事業の企画実施をしても目標達成は難しい	根拠(理由)	①②共に関係機関との継続的な連携により、目標達成できる。
(2) 施策の成果評価に対する2020年度事務事業の総括			
①施策の成果向上に対して貢献度が高かった事務事業	交通安全対策事業 防犯対策事業 少年補導員会運営事業 子どもの安全・安心確保対策事業	②施策の成果向上に対して貢献度が低かった事務事業	
③事務事業全体の振り返り(総括)	●交通安全対策 →交通安全関連団体などと連携し、交通安全啓発を実施した。 ●防犯対策 →防犯協会において、巡視活動を通じて、町民の防犯の意識啓発を図った。 ●子どもの安全・安心確保対策 →専任交通指導員を配置し、登下校時における児童・生徒の安全確保を図った。		

4. 総合計画審議会(外部評価)

評価	同じことを変わらず継続していくことの大切さという意味でも「D変わらないまたは維持した」と評価する。		A	B	C	D	E
		進捗結果				○	
今後の取組に対する意見	・この施策の成果指標は住民意識調査のみとなっている。高齢者の交通事故防止の観点では、例えば、高齢者の自動車免許返納数であれば数値化できる。また、住民意識調査のコメントを見ると、信号機の設置などについての意見が多いが、町が行う事業ではないので町民との間でギャップがある。	A: 実現した B: (前期実施計画策定時と比較して) 大きく前進した C: (前期実施計画策定時と比較して) 前進した D: (前期実施計画策定時と比較して) 変わらない又は維持した E: (前期実施計画策定時と比較して) 後退した					

委員会評価及び展望

(1) 施策の主な内容

1	交通安全指導・啓発事業の推進	展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						
2	防犯対策事業の推進	展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						
3	各種団体の育成支援・連携強化	展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						
4		展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						
5		展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						
6		展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						
7		展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						
8		展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						

(2) 展望計画

1	地域が一体となった交通安全の取組の検討	展望	強化	維持	縮小	廃止
考察						
2	専任交通指導員の安定的な確保策の検討	展望	強化	維持	縮小	廃止
考察						
3		展望	強化	維持	縮小	廃止
考察						
4		展望	強化	維持	縮小	廃止
考察						
5		展望	強化	維持	縮小	廃止
考察						
6		展望	強化	維持	縮小	廃止
考察						
7		展望	強化	維持	縮小	廃止
考察						

(3) 施策

評価・考察		評価	実現	前進	維持	後退
		展望	強化	維持	縮小	廃止

第5期芽室町総合計画前期実施計画の評価及び後期実施計画の考察（所管委員会）

施策番号	施策名	基本目標
4-1-4	消費者の安全・安心の確保	自然と共生する災害に強い安全・安心のまちづくり
		政策名 安全・安心に暮らせる生活環境づくり

1. 施策の方針と成果指標

施策の方針		対象		意図				結果	
消費者が主役となり安全で安心な消費生活の実現と食の安全・安心確保のための取組をすすめます。		町民		・消費者の被害防止及び食の安全・安心の確保				町民が安全で安心して暮らせる日常生活の確保	
成果指標	説明	単位	策定時(2017実績)	2019年度実績	2020年度実績	2021年度(予想)	2022年度目標		
① 安心して消費生活が送れると思う町民の割合	住民意識調査	%	未調査	76.5	74.2	82.0	93.0		
②									
③									
④									
成果指標設定の考え方		第5期総合計画からの新たな指標。90%以上を目標に、2022年には93.0%を目指す。							

2. 施策の事業費

	2018年度決算	2019年度決算	2020年度決算
施策事業費（千円）	6,588	7,487	6,979
人工数（業務量）	0.1250	0.1341	0.1436

3. 施策の達成状況

(1) 施策の達成度とその考察			
①2020年度の成果評価	☐ 成果は向上した ☐ 成果は変わらなかった ☒ 成果は低下した	想定される理由	・新型コロナウイルス感染拡大により、感染症に関する不安や、外出自粛によるインターネット通販利用拡大に伴うトラブルの増加や生活様式の変化などの他、将来の買い物への交通手段への不安などが考えられる。
②2022年度の目標達成見込み	☒ 現状の取組の延長で目標は達成できる ☐ 現状の取組の延長で目標達成は難しいが、現行事業の見直しや新規事業の企画実施で目標達成は可能 ☐ 事業の見直しや新規事業の企画実施をしても目標達成は難しい	根拠（理由）	・消費者の課題調査を継続して行い取り組み内容を精査する。 ・第5期総合計画に定める「消費生活相談体制の強化」、「食の安全・安心の確保」の両施策を実施することで目標達成を目指す。
(2) 施策の成果評価に対する2020年度事務事業の総括			
①施策の成果向上に対して貢献度が高かった事務事業	芽室消費者協会運営支援事業 帯広地方食品衛生協会芽室支部運営事業	②施策の成果向上に対して貢献度が低かった事務事業	
③事務事業全体の振り返り(総括)	・消費者被害防止や日常生活の相談業務・啓発活動や健康保持・生活安全確保事業については、芽室消費者協会において消費者に対する出前講座や消費生活展の開催、消費生活相談など、新型コロナウイルス感染拡大の影響がある中、回数は減少したものの、精力的に実施いただいている。 ・芽室消費者協会においては、食品ロス削減推進法の施行に伴い、「冷蔵庫整理収納講座」に参加するなど、食品ロス削減につながる整理収納方法の情報収集を行っている。 ・帯広地方食品衛生協会芽室支部では、食品による危害発生の防止に努めるため、研修事業をはじめ帯広保健所からの検査対応等を実施している。		

4. 総合計画審議会(外部評価)

評価	「C前進した」と評価する。		A	B	C	D	E
		進捗結果			○		
今後の取組 に対する 意見	・成果指標の設定について。住民意識調査のコメントを見ると、町民が思う消費生活と、町が意図する消費者の被害防止や食の安全・安心の確保ということとは結びついていない。このことから町が取り組みを行ったとしても、成果指標の向上には結び付かないのではないか。	A: 実現した					
		B: (前期実施計画策定時と比較して) 大きく前進した					
		C: (前期実施計画策定時と比較して) 前進した					
		D: (前期実施計画策定時と比較して) 変わらない又は維持した					
		E: (前期実施計画策定時と比較して) 後退した					

委員会評価及び展望

(1) 施策の主な内容

1	消費生活相談体制の充実強化	展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						
2	消費者の自主活動と自立支援の推進	展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						
3	食の安全・安心の確保	展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						
4		展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						
5		展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						
6		展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						
7		展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						
8		展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						

(2) 展望計画

1	消費生活相談体制の充実強化	展望	強化	維持	縮小	廃止
考察						
2	消費者の自主活動と自立支援の推進	展望	強化	維持	縮小	廃止
考察						
3	食の安全・安心の確保	展望	強化	維持	縮小	廃止
考察						
4		展望	強化	維持	縮小	廃止
考察						
5		展望	強化	維持	縮小	廃止
考察						
6		展望	強化	維持	縮小	廃止
考察						
7		展望	強化	維持	縮小	廃止
考察						

(3) 施策

評価・考察		評価	実現	前進	維持	後退
		展望	強化	維持	縮小	廃止

第5期芽室町総合計画前期実施計画の評価及び後期実施計画の考察（所管委員会）

施策番号	施策名	基本目標	政策名
4-2-1	有効な土地利用の推進	自然と共生する災害に強い安全・安心のまちづくり	快適な都市環境づくりの推進

1. 施策の方針と成果指標

施策の方針		対象	意図				結果	
市街地の空き地や未利用地を減らし、町有地の空き地・未利用地について有効活用をすすめます。		①広義：町全域のうち都市計画区域 ②狭義：町有地（公共用地）	①市街化区域内の空き地や未利用地を減らし、人口動態に適切に対応した土地利用を図る ②町有地の空き地・未利用地を解消し有効活用を図る				計画的な土地利用による自然と調和した快適なまち	
成果指標	説明	単位	策定時(2017実績)	2019年度実績	2020年度実績	2021年度(予想)	2022年度目標	
① 市街化区域内の住宅戸数	町住民税務課（旧税務課）データより	戸	6,775	6,899	6,939	6,920	6,920	
② 「まち並みが整っていて機能的なまち」と思う町民の割合	住民意識調査	%	77.7	59.2	65.8	80.0	80.0	
③								
④								
成果指標設定の考え方		①住宅戸数を増加させる施策を講じる必要があることから成果指標に設定し、年平均30戸の増加を見込み、目標値を目指すもの。 ②まち並みに対する町民の満足度を向上させる施策を講じる必要があることから成果指標に設定し、段階的に向上させ、目標値を目指すもの。（※住民意識調査の回答項目を5択→4択に変更）						

2. 施策の事業費

	2018年度決算	2019年度決算	2020年度決算
施策事業費（千円）	34,708	72,780	16,653
人工数（業務量）	2.1222	1.8506	0.7836

3. 施策の達成状況

(1) 施策の達成度とその考察			
①2020年度の成果評価	☐ 成果は向上した ☒ 成果は変わらなかった ☐ 成果は低下した	想定される理由	①住宅に関する補助・奨励制度の利用増を主な要因として増加傾向 ②は前年度より向上
②2022年度の目標達成見込み	☒ 現状の取組の延長で目標は達成できる ☐ 現状の取組の延長で目標達成は難しいが、現行事業の見直しや新規事業の企画実施で目標達成は可能 ☐ 事業の見直しや新規事業の企画実施をしても目標達成は難しい	根拠（理由）	①住宅に関する補助・奨励制度の周知による利用促進を図ることにより、目標達成は可能 ②都市計画マスタープラン等を推進することにより、目標達成は可能
(2) 施策の成果評価に対する2020年度事務事業の総括			
①施策の成果向上に対して貢献度が高かった事務事業	町有財産（土地・建物）管理事務 都市計画変更・決定事務 開発行為・許可事務	②施策の成果向上に対して貢献度が低かった事務事業	
③事務事業全体の振り返り（総括）	●定住促進及び空洞化防止 →土地の有効活用では、町有地を売却し民間による宅地分譲により、子育て世帯を中心に建築確認申請件数（年平均で約90件）を維持してきた。 ●町有地（未利用地）の有効活用 →未利用地活用の方向性を定め、民間への売却により有効活用を図ることができた。		

4. 総合計画審議会(外部評価)

評価	「C前進した」と評価する。		A	B	C	D	E
		進捗結果			○		
今後の取組 に対する 意見	・住み始める時の奨励事業はよく目にすることが多いが、リフォーム時の奨励事業はあまり周知されていない。	A: 実現した					
		B: (前期実施計画策定時と比較して) 大きく前進した					
		C: (前期実施計画策定時と比較して) 前進した					
		D: (前期実施計画策定時と比較して) 変わらない又は維持した					
		E: (前期実施計画策定時と比較して) 後退した					

委員会評価及び展望

(1) 施策の主な内容

1	適正かつ効果的な公共施設等の配置	展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						
2	公共未利用地活用の推進	展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						
3	まちなか居住の推進	展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						
4		展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						
5		展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						
6		展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						
7		展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						
8		展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						

(2) 展望計画

1	公共施設未利用地の積極的活用の実施	展望	強化	維持	縮小	廃止
考察						
2	小規模遊休地の活用促進(売却・賃貸など)	展望	強化	維持	縮小	廃止
考察						
3	土地利用計画・公共施設配置構想に基づいた大規模町有地の有効活用	展望	強化	維持	縮小	廃止
考察						
4		展望	強化	維持	縮小	廃止
考察						
5		展望	強化	維持	縮小	廃止
考察						
6		展望	強化	維持	縮小	廃止
考察						
7		展望	強化	維持	縮小	廃止
考察						

(3) 施策

評価・考察		評価	実現	前進	維持	後退
		展望	強化	維持	縮小	廃止

第5期芽室町総合計画前期実施計画の評価及び後期実施計画の考察（所管委員会）

施策番号	施策名	基本目標
4-2-2	快適な住環境の整備	自然と共生する災害に強い安全・安心のまちづくり
		政策名 快適な都市環境づくりの推進

1. 施策の方針と成果指標

施策の方針		対象	意図					結果
快適で安全・安心な公園などの住環境の整備と適正な公共賃貸住宅の供給をすすめます。		町内の住環境	・快適で安全・安心な住環境を町民に提供する					町の人口減少の抑制と、居住者の快適な暮らし
成果指標	説明	単位	策定時(2017実績)	2019年度実績	2020年度実績	2021年度(予想)	2022年度目標	
① 芽室町の公園に満足している町民の割合	住民意識調査	%	94.8	82.8	83.3	95.0	95.0	
② 居住環境に満足している町民の割合	住民意識調査	%	92.5	82.6	83.7	95.0	95.0	
③ 公共用地売却地への住宅建設の割合	都市経営課(旧建設都市整備課)調べ	%	68.1	96.7	100.0	90.0	90.0	
④								
成果指標設定の考え方		①公園に対する町民の満足度を向上させる施策を講じる必要があることから成果指標に設定し、段階的に向上させ、目標値を目指すもの。 (※住民意識調査の回答項目を5択→4択に変更) ②居住環境に対する町民の満足度を向上させる施策を講じる必要があることから成果指標に設定し、段階的に向上させ、目標値を目指すもの。(※住民意識調査の回答項目を5択→4択に変更) ③快適で安全・安心な住環境を町民に提供する施策を講じる必要があることから成果指標に設定し、早期に住宅建設を進め、目標値を目指すもの。						

2. 施策の事業費

	2018年度決算	2019年度決算	2020年度決算
施策事業費（千円）	264,035	258,274	238,339
人工数(業務量)	5.3430	4.6794	4.2902

3. 施策の達成状況

(1) 施策の達成度とその考察			
①2020年度の成果評価	☐ 成果は向上した ☒ 成果は変わらなかった ☐ 成果は低下した	想定される理由	①計画的に配置された公園と適正な維持管理により前年より増加 ②前年度より向上 ③住宅用地として売却した町有地への住宅建設が完了
②2022年度の目標達成見込み	☒ 現状の取組の延長で目標は達成できる ☐ 現状の取組の延長で目標達成は難しいが、現行事業の見直しや新規事業の企画実施で目標達成は可能 ☐ 事業の見直しや新規事業の企画実施をしても目標達成は難しい	根拠(理由)	①ピウカ川親水公園の整備及び「公園施設長寿命化計画」に基づく施設の更新等により、目標達成は可能 ②「公営住宅等長寿命化計画」に基づく整備の実施及び耐震改修補助制度(建て替え・解体)の活用により、目標達成が可能 ③既成市街地での子育て世帯を中心とする一戸建て住宅の建設ニーズの増加により、目標達成
(2) 施策の成果評価に対する2020年度事務事業の総括			
①施策の成果向上に対して貢献度が高かった事務事業	公園施設等維持管理事業 花菖蒲園維持管理事業 公営住宅維持管理事業 限定特定行政庁事務	②施策の成果向上に対して貢献度が低かった事務事業	
③事務事業全体の振り返り(総括)	●「公園施設等長寿命化計画」の推進 →公園の既存施設は、劣化状況等に合わせ計画的に修繕及び更新を進めている。 ●公営住宅の適正な管理 →低所得者への公営住宅の賃貸を維持継続し、必要な修繕を適正に実施することにより、快適な住環境を提供している。 ●老朽空き家対策 →無料耐震診断の実施し、建て替えや解体の補助制度の活用が図られた。また、危険家屋の所有者に対しては指導、助言を行っている。		

4. 総合計画審議会(外部評価)

評価	「C前進した」と評価する。		A	B	C	D	E
		進捗結果			○		
今後の取組 に対する 意見	・インターネット環境の改善。農村部の現状として、夜間などインターネットが繋がらなくなることがある。	A: 実現した					
		B: (前期実施計画策定時と比較して) 大きく前進した					
		C: (前期実施計画策定時と比較して) 前進した					
		D: (前期実施計画策定時と比較して) 変わらない又は維持した					
		E: (前期実施計画策定時と比較して) 後退した					

委員会評価及び展望

(1) 施策の主な内容

1	公園施設等の維持管理の推進	展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						
2	公園施設の長寿命化計画の推進	展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						
3	花菖蒲園の復旧	展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						
4	高齢者や障がいのある人などが安心して暮らせる住環境の形成	展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						
5	居住環境の改善に向けた空き家の対策	展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						
6	公営住宅の整備と適正な維持管理の推進	展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						
7	定住促進のための住環境づくり	展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						
8		展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						

(2) 展望計画

1	公園施設等長寿命化計画に基づく公園施設等の維持管理・更新	展望	強化	維持	縮小	廃止
考察						
2	芽室町公営住宅等長寿命化計画の推進	展望	強化	維持	縮小	廃止
考察						
3	住宅マスタープランの推進	展望	強化	維持	縮小	廃止
考察						
4		展望	強化	維持	縮小	廃止
考察						
5		展望	強化	維持	縮小	廃止
考察						
6		展望	強化	維持	縮小	廃止
考察						
7		展望	強化	維持	縮小	廃止
考察						

(3) 施策

評価・考察		評価	実現	前進	維持	後退
		展望	強化	維持	縮小	廃止

第5期芽室町総合計画前期実施計画の評価及び後期実施計画の考察（所管委員会）

施策番号	施策名	基本目標
4-2-3	道路交通環境の整備	自然と共生する災害に強い安全・安心のまちづくり
		政策名 快適な都市環境づくりの推進

1. 施策の方針と成果指標

施策の方針		対象		意図				結果	
道路交通、公共交通における移動の快適性、利便性の向上をすすめます。		町民		・交通アクセスを強化する ・目的地までの快適な移動、利便性の向上をすすめる				安全で快適な生活を送ることができる	
成果指標	説明	単位	策定時(2017実績)	2019年度実績	2020年度実績	2021年度(予想)	2022年度目標		
① 冬期間の移動(徒歩、車、公共交通機関等)は、安全・安心と感じる町民の割合	住民意識調査	%	65.4	52.7	61.0	65.9	70.7		
② コミュニティバスの1便あたりの乗車人数	政策推進課(旧企画財政課)調べ	人	10.1	9.9	7.4	10.5	10.5		
③									
④									
成果指標設定の考え方	①冬期間の移動に対する満足度を向上させる施策を講じる必要があることから成果指標に設定し、段階的に向上させ、目標値を目指すもの。(※住民意識調査の回答項目を5択→4択に変更) ②公共交通機関に対する町民の満足度を向上させる施策を講じる必要があることから成果指標に設定し、生活交通確保維持改善計画(地域内フィーダー系統確保維持計画)に基づき年0.1人向上させ、目標値を目指すもの。								

2. 施策の事業費

	2018年度決算	2019年度決算	2020年度決算
施策事業費(千円)	662,405	836,575	815,953
人工数(業務量)	6.0024	5.9935	6.1118

3. 施策の達成状況

(1) 施策の達成度とその考察			
①2020年度の成果評価	☐ 成果は向上した ☐ 成果は変わらなかった ☒ 成果は低下した	想定される理由	成果指標①②共に低下している。 →①は降雪状況(降雪時間帯・降雪量)に対する除雪作業等が主な要因である。②は新型コロナウイルスの影響による、外出自粛が主な要因である。
②2022年度の目標達成見込み	☐ 現状の取組の延長で目標は達成できる ☒ 現状の取組の延長で目標達成は難しいが、現行事業の見直しや新規事業の企画実施で目標達成は可能 ☐ 事業の見直しや新規事業の企画実施をしても目標達成は難しい	根拠(理由)	①除雪作業に対する理解度を高めることで目標達成は可能であるが、降雪状況により満足度は大きく変動する。試行的な玄関前除雪(間口除雪)を検討する。 ②コミュニティバスの利用状況を分析し、課題点に対する対応策(路線変更等)を講じ、満足度を向上させることで目標達成は可能である。
(2) 施策の成果評価に対する2020年度事務事業の総括			
①施策の成果向上に対して貢献度が高かった事務事業	町道・歩道・駐車場等除排雪事業 地域公共交通確保対策事業	②施策の成果向上に対して貢献度が低かった事務事業	
③事務事業全体の振り返り(総括)	●道路パトロールと維持修繕 →パトロール強化及び損傷か所の早期発見、修繕を目的とした「道路施設維持管理業務」を民間会社で組織する組合に委託し、道路利用者の安全確保に努めた。 ●除排雪作業 →降雪及び風雪状況に応じた除雪とパトロールを適宜実施し、冬期間の道路利用者の安全確保に努めた。		

7. 総合計画審議会(外部評価)

評価	成果指標等から、「D変わらない又は維持した」と評価する。		A	B	C	D	E
		進捗結果				○	
今後の取組 に対する 意見	・タクシー助成の相乗りについては、より町民の方に便利だと感じ、 体験(利用)していただくということが大きな課題である。	A: 実現した					
		B: (前期実施計画策定時と比較して) 大きく前進した					
		C: (前期実施計画策定時と比較して) 前進した					
		D: (前期実施計画策定時と比較して) 変わらない又は維持した					
		E: (前期実施計画策定時と比較して) 後退した					

委員会評価及び展望

(1) 施策の主な内容

1	幹線道路網の整備促進	展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						
2	道路網計画の策定	展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						
3	公共土木施設等環境の整備	展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						
4	公共交通機関の確保	展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						
5		展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						
6		展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						
7		展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						
8		展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						

(2) 展望計画

1	公共土木施設の長寿命化	展望	強化	維持	縮小	廃止
考察						
2	各種道路整備計画に基づく個別事業を実施	展望	強化	維持	縮小	廃止
考察						
3	道路の老朽化や除排雪路線延長に伴う町道認定路線の見直し	展望	強化	維持	縮小	廃止
考察						
4		展望	強化	維持	縮小	廃止
考察						
5		展望	強化	維持	縮小	廃止
考察						
6		展望	強化	維持	縮小	廃止
考察						
7		展望	強化	維持	縮小	廃止
考察						

(3) 施策

評価・ 考察		評価	実現	前進	維持	後退
		展望	強化	維持	縮小	廃止

第5期芽室町総合計画前期実施計画の評価及び後期実施計画の考察（所管委員会）

施策番号	施策名	基本目標
4-3-1	景観の保全とクリーンエネルギーの推進	自然と共生する災害に強い安全・安心のまちづくり 政策名 自然と調和した持続可能な生活環境の整備・保全

1. 施策の方針と成果指標

施策の方針		対象		意図				結果	
本町の豊かで美しい自然環境の保全と循環型社会に向けたエネルギーの有効活用をすすめます。		町民・町内の自然環境		・環境への負荷を低減し、自然環境と景観を保全する				町民が住みやすい快適な生活環境を保全する	
成果指標	説明	単位	策定時(2017実績)	2019年度実績	2020年度実績	2021年度(予想)	2022年度目標		
① 芽室町の景観に満足している町民の割合	住民意識調査	%	97.0	86.6	88.3	91.7	95.0以上		
② 芽室町の自然環境(空気・水・土壌など)に満足している町民の割合	住民意識調査	%	97.2	92.1	93.2	94.1	95.0以上		
③ 公共サインの整備状況	都市経営課(旧建設都市整備課)	か所	34	74	74	77	119		
④									
成果指標設定の考え方	①美しい景観を維持するための成果指標とし、高水準の住民満足度を維持していく目標値を設定。(※住民意識調査の回答項目を5択→4択に変更) ②恵まれた自然環境を保全し次世代に受け継ぐための成果指標とし、高水準の住民満足度を維持していく目標値を設定。(※住民意識調査の回答項目を5択→4択に変更) ③公共サインによる景観形成のための成果指標とし、「芽室町公共サイン整備計画」に基づく目標値を設定。								

2. 施策の事業費

	2018年度決算	2019年度決算	2020年度決算
施策事業費(千円)	10,452	13,795	6,402
人工数(業務量)	0.5277	0.5058	0.3542

3. 施策の達成状況

(1) 施策の達成度とその考察			
①2020年度の成果評価	☐ 成果は向上した ☒ 成果は変わらなかった ☐ 成果は低下した	想定される理由	成果指標①②は策定時より低下 →特段の理由なし 成果指標③は向上 →計画的に整備を進めている
②2022年度の目標達成見込み	☒ 現状の取組の延長で目標は達成できる ☐ 現状の取組の延長で目標達成は難しいが、現行事業の見直しや新規事業の企画実施で目標達成は可能 ☐ 事業の見直しや新規事業の企画実施をしても目標達成は難しい	根拠(理由)	①②豊かな自然環境という認識はあっても、一部でごみの散乱や空き地の雑草が伸びているなど、景観を損ねる要因があり、それらに対するきめ細かな対応により、目標達成は見込める。 ③公共サインについては、「芽室町公共サイン整備計画」に基づく整備を進めるが、一部警察協議により設置不可(信号機設置)となったため、目標は達成できない。
(2) 施策の成果評価に対する2020年度事務事業の総括			
①施策の成果向上に対して貢献度が高かった事務事業	クリーンめむろ大作戦事業 都市景観啓発・普及事業	②施策の成果向上に対して貢献度が低かった事務事業	
③事務事業全体の振り返り(総括)	・環境調査では、大気汚染や河川水質などの項目について、環境基準を満たしているかの調査を実施した。河川水質において一部、環境基準に満たない項目もあるが、概ね例年と大差はなく、環境基準を満たしている。 ・広報誌(エコナビ通信)に、野焼き禁止やペットの飼育マナー等について掲載し、快適な生活環境の維持に向け周知・啓発を行った。 ・公共サインの整備は、年次計画どおりに進めていたが、一部住所表記の誘導サイン(信号機設置)については、警察との協議で統一したデザイン(緑・茶)での設置は不可となった。		

4. 総合計画審議会(外部評価)

評価	公共サインの設置などから、「C前進した」と評価する。		A	B	C	D	E
		進捗結果			○		
今後の取組 に対する 意見	・地域や各団体で取組む道路・公園等のごみ拾いや清掃活動、花苗 植栽活動を支援するとあるので、大いに期待します。	A: 実現した					
		B: (前期実施計画策定時と比較して) 大きく前進した					
		C: (前期実施計画策定時と比較して) 前進した					
		D: (前期実施計画策定時と比較して) 変わらない又は維持した					
		E: (前期実施計画策定時と比較して) 後退した					

委員会評価及び展望

(1) 施策の主な内容

1	生活環境の保全	展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						
2	自然景観の保全と活用	展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						
3	公共サインの整備	展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						
4	公共施設などへのクリーンエネルギーの普及・啓発	展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						
5	町民へのクリーンエネルギーの普及・啓発	展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						
6	新エネルギービジョンの点検	展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						
7		展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						
8		展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						

(2) 展望計画

1	統一した公共サインの整備により、町の景観を維持	展望	強化	維持	縮小	廃止
考察						
2	自然環境の保全に対する町民の意識を高め、住みよいまちづくりへの参加の促進	展望	強化	維持	縮小	廃止
考察						
3		展望	強化	維持	縮小	廃止
考察						
4		展望	強化	維持	縮小	廃止
考察						
5		展望	強化	維持	縮小	廃止
考察						
6		展望	強化	維持	縮小	廃止
考察						
7		展望	強化	維持	縮小	廃止
考察						

(3) 施策

評価・考察		評価	実現	前進	維持	後退
		展望	強化	維持	縮小	廃止

第5期芽室町総合計画前期実施計画の評価及び後期実施計画の考察（所管委員会）

施策番号	施策名	基本目標
4-3-2	廃棄物の抑制と適正な処理	自然と共生する災害に強い安全・安心のまちづくり
		政策名 自然と調和した持続可能な生活環境の整備・保全

1. 施策の方針と成果指標

施策の方針		対象		意図				結果	
町民・事業者・行政が互いに協力し、ごみの減量化や資源リサイクルの取組を進め、本町らしい資源循環型社会の構築を目指すとともに、快適な生活環境づくりをすすめます。		町民・事業者		・ごみの減量化と資源リサイクルを推進し、適正な廃棄物処理を行う				快適な生活環境と資源循環型社会の構築	
成果指標	説明	単位	策定時(2017実績)	2019年度実績	2020年度実績	2021年度(予想)	2022年度目標		
① 1人1日当たりの家庭から排出するごみの量	環境土木課(旧住民生活課)調べ	g	384.02	388.05	406.73	375.87	345.00		
② リサイクル率	環境土木課(旧住民生活課)調べ	%	35.2	34.2	32.8	33.9	35.0以上		
③									
④									
成果指標設定の考え方	①人口や事業活動に左右されない指標とするため、1人当たりで家庭ごみに限定した成果指標とし、1割削減を目標値として設定。 ②ごみを燃やす・埋め立てる処理方法ではなく、資源化することが重要であることから成果指標とし、現状維持以上を目標値として設定。								

2. 施策の事業費

	2018年度決算	2019年度決算	2020年度決算
施策事業費（千円）	236,455	221,180	228,116
人工数（業務量）	1.1863	0.7012	1.2988

3. 施策の達成状況

(1) 施策の達成度とその考察			
①2020年度の成果評価	☐ 成果は向上した ☒ 成果は変わらなかった ☐ 成果は低下した	想定される理由	成果指標①②共に低下 →生活スタイルに変化がなく、ごみ減量や資源化について、高齢化による意欲低下や若年層・転入者等の意識の弱さが主な要因
②2022年度の目標達成見込み	☐ 現状の取組の延長で目標は達成できる ☒ 現状の取組の延長で目標達成は難しいが、現行事業の見直しや新規事業の企画実施で目標達成は可能 ☐ 事業の見直しや新規事業の企画実施をしても目標達成は難しい	根拠（理由）	①令和2年7月からレジ袋有料化となり、マイバッグ利用など、それを契機とした周知・啓発活動により住民意識が高める。 ②令和3年3月策定「ごみ処理基本計画」の推進により、目標達成が見込める。
(2) 施策の成果評価に対する2020年度事務事業の総括			
①施策の成果向上に対して貢献度が高かった事務事業	資源ごみ収集処理事業 資源物集団回収支援事業	②施策の成果向上に対して貢献度が低かった事務事業	
③事務事業全体の振り返り(総括)	●廃棄物の適正処理(可燃・不燃等ごみ収集処理事業) →ごみネット・カラス除けサークルの支給により、収集時のごみ散乱が減少し、住民からの評価は高い。不法投棄監視カメラ設置箇所のポイ捨てごみの減少が見られ、一定の抑止効果はある。 ●廃棄物の抑制(資源ごみ収集処理事業) →広報誌(エコナビ通信)や各イベントでのごみ分別説明コーナーの設置し、正しい分別と資源化についての周知を行っている。また、コンポスター助成事業(芽室町生活環境推進会)の継続により、生ごみの堆肥化を推進している。		

4. 総合計画審議会(外部評価)

評価	成果指標等から、「D変わらない又は維持した」と評価する。		A	B	C	D	E
		進捗結果				○	
今後の取組 に対する 意見	・芽室町のごみ袋について、ごみの量を減らすことを目的とするのであれば、ごみ袋を小さくすることも心理的要因となるのではないか。	A: 実現した B: (前期実施計画策定時と比較して) 大きく前進した C: (前期実施計画策定時と比較して) 前進した D: (前期実施計画策定時と比較して) 変わらない又は維持した E: (前期実施計画策定時と比較して) 後退した					

委員会評価及び展望

(1) 施策の主な内容

1	廃棄物の適正処理	展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						
2	3R(リデュース、リユース、リサイクル)の推進	展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						
3	不法投棄防止の啓発	展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						
4	農業廃棄物の適正処理	展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						
5	災害廃棄物の対策	展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						
6		展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						
7		展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						
8		展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						

(2) 展望計画

1	新中間処理施設(十勝圏複合事務組合)の平成39年度供用開始に向けて、住民による排出、町の収集運搬、処理方法などの構築	展望	強化	維持	縮小	廃止
考察						
2		展望	強化	維持	縮小	廃止
考察						
3		展望	強化	維持	縮小	廃止
考察						
4		展望	強化	維持	縮小	廃止
考察						
5		展望	強化	維持	縮小	廃止
考察						
6		展望	強化	維持	縮小	廃止
考察						
7		展望	強化	維持	縮小	廃止
考察						

(3) 施策

評価・考察		評価	実現	前進	維持	後退
		展望	強化	維持	縮小	廃止

第5期芽室町総合計画前期実施計画の評価及び後期実施計画の考察（所管委員会）

施策番号	施 策 名	上下水道の整備	基本目標	自然と共生する災害に強い安全・安心のまちづくり
4-3-3			政策名	自然と調和した持続可能な生活環境の整備・保全

1. 施策の方針と成果指標

施策の方針		対象		意図				結果	
上下水道等の整備により、ライフラインを確保し、快適な生活環境の維持に努めます。		上下水道等施設		・老朽化した施設の改築更新・耐震化				安全・安心な上下水道の安定提供	
成果指標	説明	単位	策定時(2017実績)	2019年度実績	2020年度実績	2021年度(予想)	2022年度目標		
① 水洗化率(下水道・集落排水・合併浄化槽)	決算統計	%	96.0	96.1	96.3	96.0	96.2		
② 水道普及率(上水道・簡易水道)	決算統計	%	83.6	82.3	81.7	82.3	90.9		
③									
④									
成果指標設定の考え方	①公共下水道、農業集落排水、合併浄化槽の生活排水処理による水洗化率として、2022年度目標値を96. 2%と設定 ②上水道区域、3簡易水道(上美生・美生・河北)区域の水道普及率として、2022年度目標値を90. 9%と設定								

2. 施策の事業費

	2018年度決算	2019年度決算	2020年度決算
施策事業費（千円）	828,094	887,178	962,108
人工数（業務量）	7.1637	7.0137	6.3646

3. 施策の達成状況

(1) 施策の達成度とその考察				
①2020年度の成果評価	☒ 成果は向上した ☐ 成果は変わらなかった ☐ 成果は低下した	想定される理由	給水人口減少等による水道普及率は低下しているが、拡張区域における整備は順調に進んだ。郊外地における個別合併処理浄化槽の設置により水洗化率は向上した。	
②2022年度の目標達成見込み	☒ 現状の取組の延長で目標は達成できる ☐ 現状の取組の延長で目標達成は難しいが、現行事業の見直しや新規事業の企画実施で目標達成は可能 ☐ 事業の見直しや新規事業の企画実施をしても目標達成は難しい	根拠(理由)	上水道区域が拡張地域の工事が完了したことから、順次、給水人口も増加する見込みである。個別合併浄化槽の設置についても、毎年計画的に予算計上し、実施している。	
(2) 施策の成果評価に対する2020年度事務事業の総括				
①施策の成果向上に対して貢献度が高かった事務事業	個別合併処理浄化槽新設事業	②施策の成果向上に対して貢献度が低かった事務事業		
	下水道建設事業			
	配水管整備事業			
	上水道(第6期)拡張事業			
③事務事業全体の振り返り(総括)	・個別合併浄化槽は、農業者の世帯分離や町外からの移住者など非農家住宅の新築に伴う要望は増加傾向である。 ・下水道施設は、農業集落排水施設を含め、老朽化施設の再整備(改築更新、長寿命化)及び耐震化対策等を進めている。 ・簡易水道施設は、河北地区において、老朽化施設の更新事業を北海道との合併施工で平成26年度より継続実施している。また、上美生地区においても配水池容量の見直しを行い、浄水場新築工事に着手している。 ・上水道施設整備については、無水源地域の解消に向けて拡張区域の整備を進めているほか、水道施設の更新や耐震化を推進するとともに、計画的に老朽管の布設換えを実施している。			

4. 総合計画審議会(外部評価)

評価	「C前進した」と評価する。		A	B	C	D	E
		進捗結果			○		
今後の取組 に対する 意見		A: 実現した					
		B: (前期実施計画策定時と比較して) 大きく前進した					
		C: (前期実施計画策定時と比較して) 前進した					
		D: (前期実施計画策定時と比較して) 変わらない又は維持した					
		E: (前期実施計画策定時と比較して) 後退した					

委員会評価及び展望

(1) 施策の主な内容

1	安全・安心な水道水の供給	展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						
2	下水道施設などの整備と維持管理の推進	展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						
3	上下水道事業の健全な運営	展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						
4		展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						
5		展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						
6		展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						
7		展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						
8		展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						

(2) 展望計画

1	上水道の安定供給の維持	展望	強化	維持	縮小	廃止
考察						
2	下水道施設の整備と適切な維持管理	展望	強化	維持	縮小	廃止
考察						
3	上下水道事業の健全な運営の維持	展望	強化	維持	縮小	廃止
考察						
4		展望	強化	維持	縮小	廃止
考察						
5		展望	強化	維持	縮小	廃止
考察						
6		展望	強化	維持	縮小	廃止
考察						
7		展望	強化	維持	縮小	廃止
考察						

(3) 施策

評価・考察		評価	実現	前進	維持	後退
		展望	強化	維持	縮小	廃止

第5期芽室町総合計画前期実施計画の評価及び後期実施計画の考察（所管委員会）

施策番号	施策名	基本目標
5-1-1	徹底した情報共有と町民参加の促進	住民と行政がともに考え未来へつなぐ自治のまちづくり
		政策名 多くの町民が関わり参加する自治のまちづくり

1. 施策の方針と成果指標

施策の方針		対象		意図				結果	
住民と行政が情報共有し、主体的なまちづくりへの参加を促進します。		町民		・町民と行政との情報共有を行い、まちづくりに自発的に参加してもらう				町民のまちづくりへの参加意識を高め、町民が主役となったまちづくりを進める	
成果指標	説明	単位	策定時(2017実績)	2019年度実績	2020年度実績	2021年度(予想)	2022年度目標		
① 行政情報の公開や説明責任が果たされていると思う割合	住民意識調査	%	90.6	71.8	71.6	90.0	90.0%以上		
② 町ホームページのサイトへの訪問者の数(セッション数)	1日あたりの訪問者数の平均	回	406	512	873.5	900	500回以上		
③									
④									
成果指標設定の考え方	①策定時の90.6%は従来手法(「どちらでもない」を含む5択から、「どちらでもない」の回答を引いて再計算したもの)での調査結果であり、新手法(「どちらでもない」の選択肢を含まない4択)においても、同水準を目指すもの。 ②策定時の数値から、2割以上の増を目指すもの。								

2. 施策の事業費

	2018年度決算	2019年度決算	2020年度決算
施策事業費(千円)	23,915	29,209	23,689
人工数(業務量)	2	2	2

3. 施策の達成状況

(1) 施策の達成度とその考察			
①2020年度の成果評価	☒ 成果は向上した ☐ 成果は変わらなかった ☐ 成果は低下した	想定される理由	ホームページのリニューアル及び新型コロナウイルスの影響により、ホームページのアクセス数は大きく増加した。(①は横ばい)
②2022年度の目標達成見込み	☐ 現状の取組の延長で目標は達成できる ☒ 現状の取組の延長で目標達成は難しいが、現行事業の見直しや新規事業の企画実施で目標達成は可能 ☐ 事業の見直しや新規事業の企画実施をしても目標達成は難しい	根拠(理由)	巡回型めむろ未来ミーティングについては、2019年度から町長班・副町長班に分け回数を増やし、町民が参加しやすい取り組みを開始したが、2020年度は新型コロナウイルスの影響により、中止となった。オンラインやLINEの活用など、withコロナを想定した手法を強化していく必要がある。
(2) 施策の成果評価に対する2020年度事務事業の総括			
①施策の成果向上に対して貢献度が高かった事務事業	広報事業 広聴事業	②施策の成果向上に対して貢献度が低かった事務事業	
③事務事業全体の振り返り(総括)	●巡回型のめむろ未来ミーティングは、新型コロナウイルスの影響により中止となった。団体別についても、実施回数は大幅に減少した。 ●長年の懸案事項であった、農村部の光ファイバー整備について、民間事業者が整備し、町が負担金を支出する形で整備することになった。 ●新たな広報手段として、LINEの公式アカウントを作成することとした。(令和3年5月開始)		

4. 総合計画審議会(外部評価)

評価	公式LINEでの発信はタイムリーで情報が早く、評価できる。		A	B	C	D	E
		進捗結果			○		
今後の取組 に対する 意見	・情報発信や掲示板について、すまいるボードなどアナログ的な方法も残してもらいたい。 ・災害などの緊急時にすまいるボードを活用できるとよいと思う。 ・LINEはタイムリーな配信、YOUTUBEはアーカイブ配信など、それぞれのメリットを生かしていくべきではないか。	A:実現した					
		B:(前期実施計画策定時と比較して)大きく前進した					
		C:(前期実施計画策定時と比較して)前進した					
		D:(前期実施計画策定時と比較して)変わらない又は維持した					
		E:(前期実施計画策定時と比較して)後退した					

委員会評価及び展望

(1) 施策の主な内容

1	開かれた行政の推進	展	強化	維持	縮小	廃止
評価		望				
2	総合情報誌「すまいる」・ホームページの充実	展	強化	維持	縮小	廃止
評価		望				
3	セキュリティ対策	展	強化	維持	縮小	廃止
評価		望				
4	広聴機能の充実	展	強化	維持	縮小	廃止
評価		望				
5	町民参加の機会づくり	展	強化	維持	縮小	廃止
評価		望				
6	高速通信網の拡充	展	強化	維持	縮小	廃止
評価		望				
7		展	強化	維持	縮小	廃止
評価		望				
8		展	強化	維持	縮小	廃止
評価		望				

(2) 展望計画

1	町民・行政双方向の積極的な情報伝達の実現	展	強化	維持	縮小	廃止
考察		望				
2	多様な町民対話の機会確保による町民参加の推進	展	強化	維持	縮小	廃止
考察		望				
3	町民参加手法の多様化に伴う意見の反映	展	強化	維持	縮小	廃止
考察		望				
4		展	強化	維持	縮小	廃止
考察		望				
5		展	強化	維持	縮小	廃止
考察		望				
6		展	強化	維持	縮小	廃止
考察		望				
7		展	強化	維持	縮小	廃止
考察		望				

(3) 施策

評価・考察		評	実現	前進	維持	後退
		価				
		展	強化	維持	縮小	廃止
		望				

第5期芽室町総合計画前期実施計画の評価及び後期実施計画の考察（所管委員会）

施策番号	施策名	基本目標	政策名
5-1-2	住民自治の実現と地域の活力の維持	住民と行政がともに考え未来へつなぐ自治のまちづくり	多くの町民が関わり参加する自治のまちづくり

1. 施策の方針と成果指標

施策の方針		対象		意図			結果	
地域の活力を維持し、住民自治を実現させ、より良い地域づくりをすすめます。		町民 町に愛着や誇りを持ち係る人		・町に愛着や誇りを持ち、地域のために活動する			まちづくりに係る人が増えることで地域の活力を維持する	
成果指標	説明	単位	策定時(2017実績)	2019年度実績	2020年度実績	2021年度(予想)	2022年度目標	
① 地域の活動に参加している町民の割合	住民意識調査	%	45.7	49.2	40.0	47.5	55.0	
② 芽室町が好きな町民の割合	住民意識調査	%	96.8	93.0	92.6	95.0	95.0%以上	
③ 芽室町に住み続けたいと思う町民の割合	住民意識調査	%	95.8	94.4	92.9	95.0	95.0%以上	
④								
成果指標設定の考え方	①策定時の値＋10ポイントを目標に設定した。 ②策定時の値が非常に高いことから、その値を維持することを目標とした。（※住民意識調査の回答項目を5択→4択に変更） ③策定時の値が非常に高いことから、その値を維持することを目標とした。							

2. 施策の事業費

	2018年度決算	2019年度決算	2020年度決算
施策事業費（千円）	132,434	121,216	172,002
人工数（業務量）	1.9042	3.1422	2.8458

3. 施策の達成状況

(1) 施策の達成度とその考察			
①2020年度の成果評価	☐ 成果は向上した ☐ 成果は変わらなかった ☒ 成果は低下した	想定される理由	コロナ禍により①の活動低下、活動の低下に伴って②③の意識も低下したものと想定する
②2022年度の目標達成見込み	☐ 現状の取組の延長で目標は達成できる ☒ 現状の取組の延長で目標達成は難しいが、現行事業の見直しや新規事業の企画実施で目標達成は可能 ☐ 事業の見直しや新規事業の企画実施をしても目標達成は難しい	根拠（理由）	コロナ禍による多くの事業の停滞により、成果指標についてはこのままでは今後も下っていく傾向にあると思われる。そのため、新たな取り組みを実施し目標達成を目指す。
(2) 施策の成果評価に対する2020年度事務事業の総括			
①施策の成果向上に対して貢献度が高かった事務事業		②施策の成果向上に対して貢献度が低かった事務事業	
③事務事業全体の振り返り(総括)	事業全体を通してコロナ禍において、町民の方との対面した協働の機会はほとんど失われ、必要最低限の活動が多く、結果として成果は低下している状況にある。		

4. 総合計画審議会(外部評価)

評価	・LINEを用いた町内会アンケートの実施は、進んでいて、町民と向き合っている点で評価できる。 ・(成果指標は)コロナで苦戦したところと思うので、「D変わらない」と評価する。		A	B	C	D	E
		進捗結果				○	
今後の取組 に対する 意見	・成果指標①の住民意識調査の設問は、地域活動の範囲を示し、個人でごみ拾いを行った場合や団体として参加するものも地域の活動になるのかなど、分かりやすく答えやすくなる工夫が必要ではないか。 ・中央公民館を「活動目的がなくても立ち寄りよりたくなる」場所にできると魅力的な場所になるのではないか。そのためにも公民館内外の環境整備が大事だと感じる。	A:実現した					
		B:(前期実施計画策定時と比較して)大きく前進した					
		C:(前期実施計画策定時と比較して)前進した					
		D:(前期実施計画策定時と比較して)変わらない又は維持した					
		E:(前期実施計画策定時と比較して)後退した					

委員会評価及び展望

(1) 施策の主な内容

1	自治活動支援	展	強化	維持	縮小	廃止
評価		望				
2	地域担当制度の推進	展	強化	維持	縮小	廃止
評価		望				
3	地域集会施設などの再整備	展	強化	維持	縮小	廃止
評価		望				
4	公共サービスのあり方の検討	展	強化	維持	縮小	廃止
評価		望				
5	移住・定住の促進	展	強化	維持	縮小	廃止
評価		望				
6	シティプロモーションの推進	展	強化	維持	縮小	廃止
評価		望				
7		展	強化	維持	縮小	廃止
評価		望				
8		展	強化	維持	縮小	廃止
評価		望				

(2) 展望計画

1	地域集会施設の多機能化、複合化、集約化などによる再整備	展	強化	維持	縮小	廃止
考察		望				
2	シティプロモーション手法の見直しと推進	展	強化	維持	縮小	廃止
考察		望				
3		展	強化	維持	縮小	廃止
考察		望				
4		展	強化	維持	縮小	廃止
考察		望				
5		展	強化	維持	縮小	廃止
考察		望				
6		展	強化	維持	縮小	廃止
考察		望				
7		展	強化	維持	縮小	廃止
考察		望				

(3) 施策

評価・考察		評	実現	前進	維持	後退
		価				
		展	強化	維持	縮小	廃止
		望				

第5期芽室町総合計画前期実施計画の評価及び後期実施計画の考察（所管委員会）

施策番号	施策名	基本目標	政策名
5-1-3	国際・地域間交流の推進	住民と行政がともに考え未来へつなぐ自治のまちづくり	多くの町民が関わり参加する自治のまちづくり

1. 施策の方針と成果指標

施策の方針		対象		意図			結果	
友好都市との交流による人材育成と交流を通して得られる情報をまちづくりに活かします。		町民・交流都市の住民		・友好都市との交流に参加し、異なる文化に触れ、情報を得ることによって、他地域の歴史・文化、まちづくりの手法などを学ぶことができる			交流を通じたさまざまな視点と情報の連携によるまちづくりをすすめる	
成果指標	説明	単位	策定時(2017実績)	2019年度実績	2020年度実績	2021年度(予想)	2022年度目標	
①	他都市(トレーシー市・広尾町・揖斐川町)との友好・交流提携の事実を知っている町民の割合 住民意識調査	%	71.5%	75.5%	68.8%	75.0%	75.0%	
②			48.2%	48.0%	44.9%	50.0%	50.0%	
③			50.7%	60.7%	58.1%	50.0%	50.0%	
④								
成果指標設定の考え方		①トレーシーについては町民の3/4、広尾・揖斐川については町民の1/2に知ってもらうことを目指す。						

2. 施策の事業費

	2018年度決算	2019年度決算	2020年度決算
施策事業費（千円）	9,990	13,358	9,318
人工数（業務量）	0.4363	0.5577	0.1920

3. 施策の達成状況

(1) 施策の達成度とその考察			
①2020年度の成果評価	☐ 成果は向上した ☒ 成果は変わらなかった ☐ 成果は低下した	想定される理由	コロナ禍において交流事業全般が停滞していることから、住民にお伝えする機会が減り目立った向上はないものの、広報誌を通じての定期的広報が大きな変化を生まなかったと想定する。
②2022年度の目標達成見込み	☐ 現状の取組の延長で目標は達成できる ☒ 現状の取組の延長で目標達成は難しいが、現行事業の見直しや新規事業の企画実施で目標達成は可能 ☐ 事業の見直しや新規事業の企画実施をしても目標達成は難しい	根拠（理由）	コロナ禍において、交流事業全般の先が見えないことから、このまま停滞することも考えられる。今年度は国内の友好都市に関して成果を高める新たな方策を想定していることから目標を達成できると考える。
(2) 施策の成果評価に対する2020年度事務事業の総括			
①施策の成果向上に対して貢献度が高かった事務事業	揖斐川町交流推進事業	②施策の成果向上に対して貢献度が低かった事務事業	
③事務事業全体の振り返り(総括)	・国内地域間交流(揖斐川町・広尾町)については、広報誌において以前から定期的記事を掲載するとともに、揖斐川町に関しては2019年度から職員の相互派遣を開始し、広報誌面において職員の定期的報告を記事にしてお知らせすることができた。 ・国際交流については、コロナ禍で一切の交流事業ができなかったが、両町の姉妹都市協会(民間組織)が主体となった、新たな交流事業(動画のやり取り)などを実施し、広報誌、協会SNSなどにおいてもその活動を広くお知らせした。		

4. 総合計画審議会(外部評価)

評価	「D変わらない・維持した」と評価する。		A	B	C	D	E
		進捗結果				○	
今後の取組 に対する 意見	・友好都市提携のきっかけや交流内容など歴史を知る機会があるといいのではない。 ・コロナ禍だからこそ、多くの子どもが揖斐川を体験できるような企画があるといいのではないか。 ・広尾町との交流も置き去りにされないようにしてほしい。	A:実現した					
		B:(前期実施計画策定時と比較して)大きく前進した					
		C:(前期実施計画策定時と比較して)前進した					
		D:(前期実施計画策定時と比較して)変わらない又は維持した					
		E:(前期実施計画策定時と比較して)後退した					

委員会評価及び展望

(1) 施策の主な内容

1	国際交流活動の推進	展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						
2	地域間交流の促進	展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						
3	都市と農村の交流推進	展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						
4		展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						
5		展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						
6		展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						
7		展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						
8		展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						

(2) 展望計画

1	本町の特色を活用した交流の促進と民間主体による交流への支援	展望	強化	維持	縮小	廃止
考察						
2		展望	強化	維持	縮小	廃止
考察						
3		展望	強化	維持	縮小	廃止
考察						
4		展望	強化	維持	縮小	廃止
考察						
5		展望	強化	維持	縮小	廃止
考察						
6		展望	強化	維持	縮小	廃止
考察						
7		展望	強化	維持	縮小	廃止
考察						

(3) 施策

評価・考察		評価	実現	前進	維持	後退
		展望	強化	維持	縮小	廃止

第5期芽室町総合計画前期実施計画の評価及び後期実施計画の考察（所管委員会）

施策番号	施策名	効果的・効率的な行政運営	基本目標	住民と行政がともに考え未来へつなぐ自治のまちづくり
5-2-1			政策名	時代に即した行財政運営と行政サービスの推進

1. 施策の方針と成果指標

施策の方針		対象		意図				結果	
総合計画と行政改革大綱の取組を推進し、人工規模に合わせた効果的で効率的な行政運営をすすめます。		第5期総合計画 第10次行政改革大綱		総合計画：目標と掲げられた指標を実現する 行政大綱：対象実施計画を実現する				計画などに基づき、人口減少などに対応した効果的で効率的な行政運営に結びつける	
成果指標	説明	単位	策定時(2017実績)	2019年度実績	2020年度実績	2021年度(予想)	2022年度目標		
① 第5期総合計画前記実施計画の施策評価(外部)のC以上の評価施策割合	総合計画推進委員会評価結果	%	94.4	85.0	88.2	100.0	100.0		
② 職員満足度	職員アンケート	%	未実施	62.1	63.8	80.0	80.0%以上		
③ 町の行政サービスに満足している町民の割合	住民意識調査	%	87.9	81.6	80.9	80.0	80.0%以上		
④ 公共施設(建築物)管理面積	総務課調べ	m ²	192,482.26	190,679.6	192,266.7	192,266.7	191,072.36		
成果指標設定の考え方	①段階的に100%を目指す。②③年度による変動はあるものの、80%以上を維持する。④公共施設等総合管理計画の目標値とする。								

2. 施策の事業費

	2018年度決算	2019年度決算	2020年度決算
施策事業費(千円)	113,417	119,400	115,990
人工数(業務量)	5.9778	6.8231	5.8653

3. 施策の達成状況

(1) 施策の達成度とその考察			
①2020年度の成果評価	☐ 成果は向上した ☒ 成果は変わらなかった ☐ 成果は低下した	想定される理由	①②④は、前年度と比較して微増。③は、微減。(④は、少ないほどよいので、実質的には悪化)このことから、成果は変わらなかったとした。
②2022年度の目標達成見込み	☐ 現状の取組の延長で目標は達成できる ☒ 現状の取組の延長で目標達成は難しいが、現行事業の見直しや新規事業の企画実施で目標達成は可能 ☐ 事業の見直しや新規事業の企画実施をしても目標達成は難しい	根拠(理由)	職員満足度については、目標値との乖離が大きいことから、新たな取り組みが必要である。
(2) 施策の成果評価に対する2020年度事務事業の総括			
①施策の成果向上に対して貢献度が高かった事務事業	総合計画推進事業 公共施設等総合管理計画推進事業	②施策の成果向上に対して貢献度が低かった事務事業	
③事務事業全体の振り返り(総括)	・公共施設等総合管理計画に基づき老朽化した公共施設(集会施設等)の再整備について地域協議を進め、公共ファシリティマネジメントの取組みの一環として、温水プール改築に公民連携の取組みを進めている。 ・総合計画の進行管理(評価)を従来通り実施した。 ・行政経営ポリシーの考え方に基づき、組織機構の見直しを行った。 ・テレワーク環境の整備を行った。 ・5年に1度の国勢調査を実施した。		

4. 総合計画審議会(外部評価)

評価	「C前進した」と評価する。		A	B	C	D	E
		進捗結果			○		
今後の取組 に対する 意見	・職場で新しい取り組みを始めようとする、長年勤める職員は抵抗を感じる 場合がある。芽室町役場はより良くしようと新しい働きかけをしていると思う が、変化を嫌う職員にとっては、職員満足度が低くなることもある。年代別の 分析から長年勤める職員の満足度についても注意していく必要があるのでは ないか。	A: 実現した					
		B: (前期実施計画策定時と比較して) 大きく前進した					
		C: (前期実施計画策定時と比較して) 前進した					
		D: (前期実施計画策定時と比較して) 変わらない又は維持した					
		E: (前期実施計画策定時と比較して) 後退した					

委員会評価及び展望

(1) 施策の主な内容

1	計画行政の推進と評価・予算との連動	展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						
2	行政改革の推進	展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						
3	庁内コンピュータ維持管理	展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						
4	広域行政の推進	展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						
5	公共施設等総合管理計画の推進	展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						
6		展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						
7		展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						
8		展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						

(2) 展望計画

1	公共施設等総合管理計画に基づく公共施設の計画的な管理及び適正配置	展望	強化	維持	縮小	廃止
考察						
2	新たな方針に基づく行政改革の推進	展望	強化	維持	縮小	廃止
考察						
3		展望	強化	維持	縮小	廃止
考察						
4		展望	強化	維持	縮小	廃止
考察						
5		展望	強化	維持	縮小	廃止
考察						
6		展望	強化	維持	縮小	廃止
考察						
7		展望	強化	維持	縮小	廃止
考察						

(3) 施策

評価・考察		評価	実現	前進	維持	後退
		展望	強化	維持	縮小	廃止

第5期芽室町総合計画前期実施計画の評価及び後期実施計画の考察（所管委員会）

施策番号	施策名	基本目標
5-2-2	健全な財政運営	住民と行政がともに考え未来へつなぐ自治のまちづくり
		政策名
		時代に即した行財政運営と行政サービスの推進

1. 施策の方針と成果指標

施策の方針		対象		意図				結果	
安定した行政サービスの提供に向け、収支バランスがとれた健全な財政運営をすすめます。		町財政		・財政が健全な状況である（一般・特別・事業会計） →収支のバランスが取れ、黒字の状態				行政サービスを安定的に提供できる	
成果指標	説明	単位	策定時(2017実績)	2019年度実績	2020年度実績	2021年度(予想)	2022年度目標		
① 経常収支比率	地方財政状況調査	%	84.6	87.5	8月判明	86.0	87.0		
② 健全化判断比率(実質公債費比率・将来負担比率)	地方財政状況調査	%	4.4% 2.6%	4.0% 19.7%	8月判明	4.7% 85.6%	17.0%未満 50.0%未満		
③ 町税徴収率	地方財政状況調査	%	98.9	99.2	99.2	99.2	99.0		
④									
成果指標設定の考え方		①②中期財政計画で推計した財政指標を目標値とした。 ③現状の収納率を上回るように設定した。							

2. 施策の事業費

	2018年度決算	2019年度決算	2020年度決算
施策事業費（千円）	807,895	849,843	891,323
人工数（業務量）	18.7510	16.4583	16.0947

3. 施策の達成状況

(1) 施策の達成度とその考察			
①2020年度 の成果評価	☐ 成果は向上した	想定され る理由	2020年度の指標はまだ明らかになっていないが、庁舎建設・哺育育成施設整備等の大型事業による地方債現在高の増加により、将来負担比率の上昇が見込まれる。
	☐ 成果は変わらなかった		
	☒ 成果は低下した		
②2022年度の目 標達成見込み	☐ 現状の取組の延長で目標は達成できる	根拠 (理由)	将来負担比率については、哺育育成施設建設など大型事業の実施により、目標達成は難しい。
	☐ 現状の取組の延長で目標達成は難しいが、現行事業の見直しや新規事業の企画実施で目標達成は可能		
	☒ 事業の見直しや新規事業の企画実施をしても目標達成は難しい		
(2) 施策の成果評価に対する2020年度事務事業の総括			
①施策の成果向 上に対して貢献 度が高かった事 務事業	財政基本計画策定事務	②施策の成果向 上に対して貢献 度が低かった事 務事業	
	町税等滞納徴収事務		
	基金管理事務		
③事務事業全体 の振り返り(総括)	・新型コロナウイルス対策の事業については、国の交付金などを積極的に活用したことにより、町財政への影響は最小限に留めた。 ・農村部の光ファイバー整備については、交付税措置率の高い有利な起債を活用した。 ・町税徴収率については、新型コロナウイルスの影響が憂慮されたが、現年分については、前年と同率を維持できた。 ・滞納者は複数の税や料金を滞納しているケースが多く、生活実態を的確に把握し、納税相談に対応するなどにより、徴収率の向上に努めた。		

4. 総合計画審議会(外部評価)

評価	「D変わらない・維持した」と評価する。		A	B	C	D	E
		進捗結果				○	
今後の取組 に対する 意見	取り組みを進めてください。	A: 実現した					
		B: (前期実施計画策定時と比較して) 大きく前進した					
		C: (前期実施計画策定時と比較して) 前進した					
		D: (前期実施計画策定時と比較して) 変わらない又は維持した					
		E: (前期実施計画策定時と比較して) 後退した					

委員会評価及び展望

(1) 施策の主な内容

1	歳入の確保	展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						
2	歳出の抑制	展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						
3	財政状況の共有化	展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						
4	財政計画の策定	展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						
5		展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						
6		展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						
7		展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						
8		展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						

(2) 展望計画

1	安定的な税の収納ができるよう、効率的・効果的な徴収の実施と納税意識の啓発	展望	強化	維持	縮小	廃止
考察						
2	「住民参加型ミニ市場公募地方債」の導入、基金の活用による運用益の拡大、クラウドファンディングによる資金調達など、あらゆる手段による財源確保の検討	展望	強化	維持	縮小	廃止
考察						
3		展望	強化	維持	縮小	廃止
考察						
4		展望	強化	維持	縮小	廃止
考察						
5		展望	強化	維持	縮小	廃止
考察						
6		展望	強化	維持	縮小	廃止
考察						
7		展望	強化	維持	縮小	廃止
考察						

(3) 施策

評価・ 考察		評価	実現	前進	維持	後退
		展望	強化	維持	縮小	廃止

第5期芽室町総合計画前期実施計画の評価及び後期実施計画の考察（所管委員会）

施策番号	施策名	基本目標	政策名
5-2-3	親切・便利な行政サービスの推進	住民と行政がともに考え未来へつなぐ自治のまちづくり	時代に即した行政運営と行政サービスの推進

1. 施策の方針と成果指標

施策の方針		対象		意図				結果	
町民が迅速・正確と感じる対応や案内により、親切で便利な行政サービスの提供をすすめます。		町（役場）		・町民に、迅速、正確に対応するサービスを提供する				町民の満足度が増し、行政への信頼感が高まる	
成果指標	説明	単位	策定時(2017実績)	2019年度実績	2020年度実績	2021年度(予想)	2022年度目標		
① 役場等の窓口やカウンター、電話などでの職員の対応に満足している町民の割合	住民意識調査	%	89.4	81.1	83.6	80.0	80.0%以上		
② 町の行政サービスに満足している町民の割合	住民意識調査	%	87.9	81.6	80.9	80.0	80.0%以上		
③									
④									
成果指標 設定の考え方	①・②共通 二つの目標数値を統一し、安定かつ継続的に町民満足度を得られる行政サービスの提供を目標に設定した。 (第4期総合計画最終年次目標数値 ①→70.0%、②→84.0%)								

2. 施策の事業費

	2018年度決算	2019年度決算	2020年度決算
施策事業費（千円）	87,056	83,582	85,580
人工数(業務量)	5.0887	5.0863	5.5929

3. 施策の達成状況

(1) 施策の達成度とその考察			
①2020年度の成果評価	☐ 成果は向上した ☒ 成果は変わらなかった ☐ 成果は低下した	想定される理由	前年度と比較して①は微増、②は微減であるが、特筆すべき理由はなし。
②2022年度の目標達成見込み	☐ 現状の取組の延長で目標は達成できる ☒ 現状の取組の延長で目標達成は難しいが、現行事業の見直しや新規事業の企画実施で目標達成は可能 ☐ 事業の見直しや新規事業の企画実施をしても目標達成は難しい	根拠(理由)	①職員研修の継続及び職場研修・職場外研修の組合せにより、備えるべき対応能力のレベルアップを図ることで目標達成を目指す。 ②除雪や環境整備等、各種事業における継続的な課題について、行政と住民の役割分担の考え方を丁寧に説明し、共通認識を図ることで目標達成を目指す。
(2) 施策の成果評価に対する2020年度事務事業の総括			
①施策の成果向上に対して貢献度が高かった事務事業		②施策の成果向上に対して貢献度が低かった事務事業	
③事務事業全体の振り返り(総括)	● 各課における接遇対策の強化 →「朝のあいさつ運動」の定着や、接遇・コミュニケーションの職場研修(OJT)など、各職場に応じた接遇対策の改善と実践に努めた。 ● 新庁舎建設に伴う庁舎環境の改善 → 打合せスペースを通路に効率的に配置し、来庁者の移動負担を軽減させるとともに、会議室不足の対策に努めた。		

7. 総合計画審議会(外部評価)

評価	・(新庁舎で)ハード面がよくなったのであれば、ソフト面も現状維持ではなく向上していくことが必要だと思う。次回はC評価を期待する。		A	B	C	D	E
		進捗結果				○	
今後の取組 に対する 意見	・新庁舎3階のフリースペースは、町民誰もが利用しやすいルール作りをしてほしい。 ・新庁舎になってから、「声をかけにくい」や「誰に声をかけたらいいかわからない」という声を聞くので、ベルや担当者呼び出しボタン等を設置するなどしてはどうか。 ・職員の意識付けも重要だと思うが、人員配置や各課の表示をもっと分かりやすくできるのではないかな。 ・物品購入を担当する係が危機対策係なのはおかしいのではないかな。	A: 実現した					
		B: (前期実施計画策定時と比較して)大きく前進した					
		C: (前期実施計画策定時と比較して)前進した					
		D: (前期実施計画策定時と比較して)変わらない又は維持した					
		E: (前期実施計画策定時と比較して)後退した					

委員会評価及び展望

(1) 施策の主な内容

1	便利で親切な窓口サービスの推進	展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						
2	地方分権の推進に伴う行政サービスの向上	展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						
3	電子自治体化の推進	展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						
4	役場新庁舎整備の推進	展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						
5	芽室町斎場・芽室霊園の整備	展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						
6		展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						
7		展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						
8		展望	強化	維持	縮小	廃止
評価						

(2) 展望計画

1	ICT技術の進展を踏まえた電子自治体化の推進	展望	強化	維持	縮小	廃止
考察						
2	「芽室町斎場整備方針」に基づいた斎場の整備	展望	強化	維持	縮小	廃止
考察						
3		展望	強化	維持	縮小	廃止
考察						
4		展望	強化	維持	縮小	廃止
考察						
5		展望	強化	維持	縮小	廃止
考察						
6		展望	強化	維持	縮小	廃止
考察						
7		展望	強化	維持	縮小	廃止
考察						

(3) 施策

評価・考察		評価	実現	前進	維持	後退
		展望	強化	維持	縮小	廃止